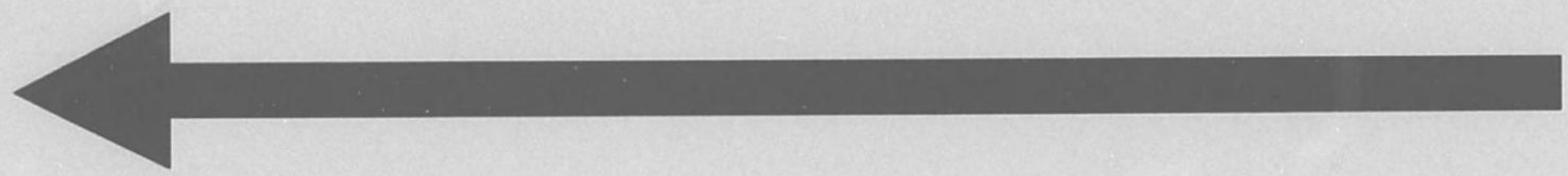


始





107
11

M

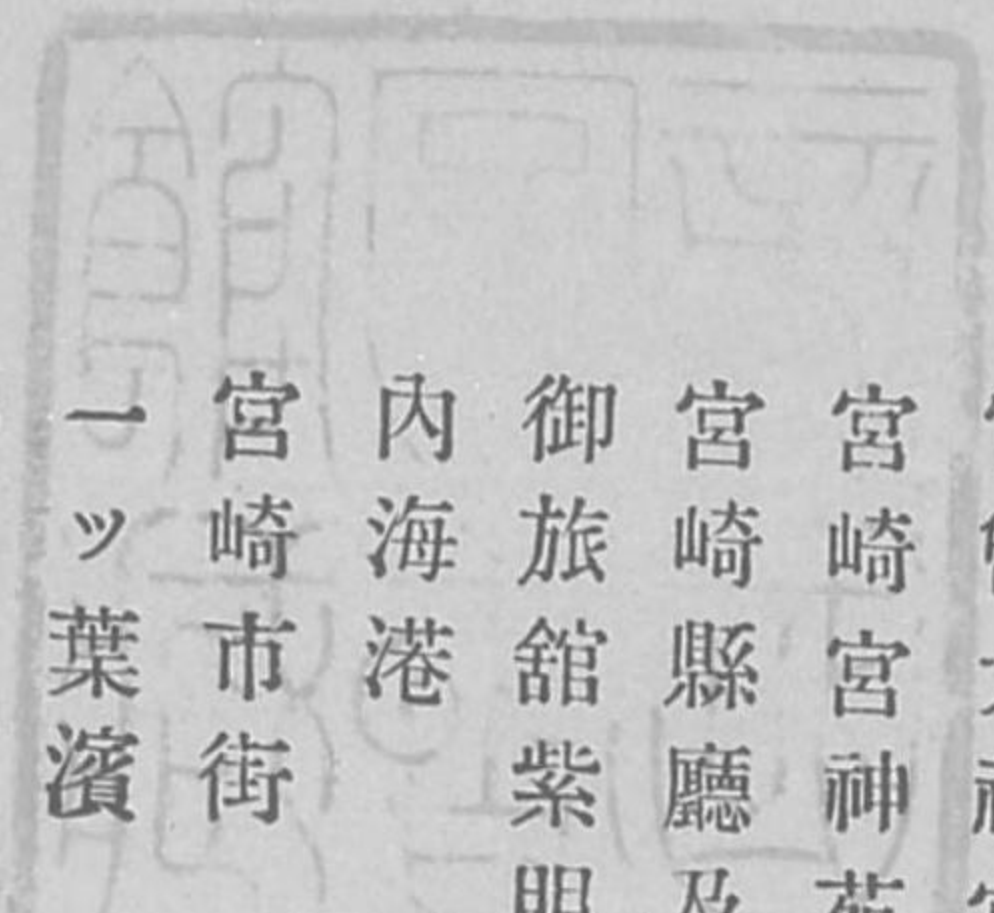
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

407
11

宮崎縣寔真帖

目次

- 官幣大社宮崎宮
- 宮崎宮神苑
- 宮崎縣廳及縣會議事堂
- 御旅館紫明館
- 內海港
- 宮崎市街
- 一ツ葉濱
- 縣立宮崎中學校
- 縣立延岡中學校
- 縣立都城中學校
- 國富尋常小學校
- 青島
- 軍馬補充部高原支部
- 宮崎種馬所
- 宮崎競馬會
- 宮崎縣勸業物品陳列場
- 宮崎縣農事試驗場
- 宮崎縣水產試驗場
- 霧島山
- 縣社狹野神社
- 鞍崎燈臺
- 梅ヶ濱
- 都城市街
- 佐土原市街
- 飢肥城址
- 官幣大社鵜戸神宮
- 縣社榎原神社
- 油津港
- 福島港
- 縣立農學校
- 宮崎郡立職業學校
- 北諸縣郡立女子職業學校
- 宮崎縣農會苗圃
- 住吉村共同苗代田
- 東鄉村耕地整理
- 日平鑛山

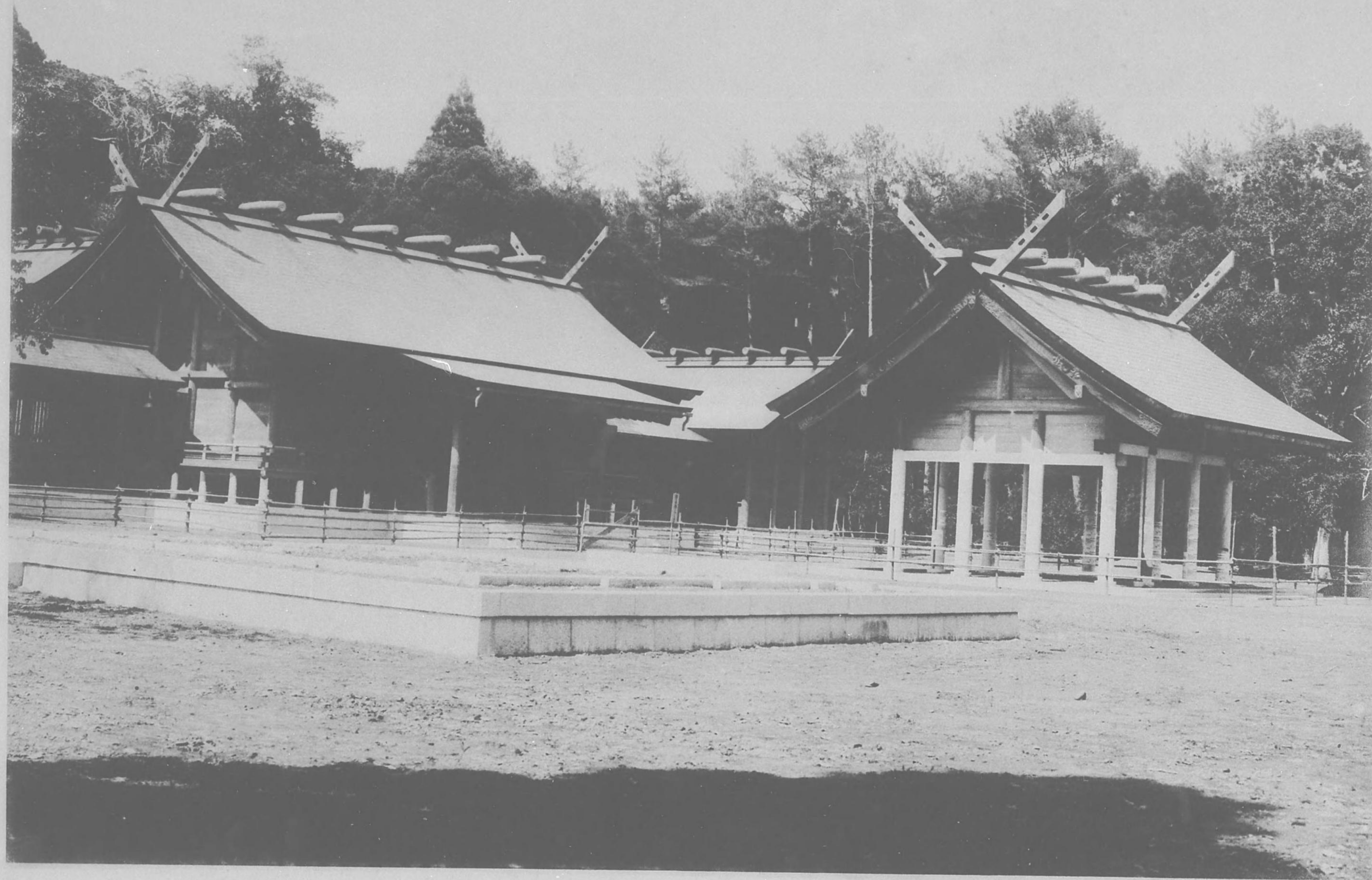


槇峯鑛山
觀音瀨瀧
黒北發電所
關ノ尾瀧
國幣小社都農神社
縣社都滿神社
御陵墓參考地
縣立師範學校
縣立高等女學校
私立延岡高等女學校
高原村殺蛹乾燥所
縣有林
青野水流桑園
宮崎縣農會基本林
日州教育會基本林
日本赤十字社宮崎支部基本林
月知梅
景行天皇腰掛石
庄内開墾地
飫肥森林
宮之原森林
川南苗圃
東臼杵郡有林
南方苗圃
高鍋市街
細島港
美々津港
長谷觀音
岡山孤兒院茶臼原農林部
可愛嶽
行膝瀧
延岡市街
三田井市街
日之影橋
岩戸神社
高千穂神社
窓の瀨

延岡市街
三田井市街
日之影橋
岩戸神社
高千穂神社
窓の瀬

官幣大社宮崎宮

宮崎郡大宮村下北方にあり縁起に據れば筑紫の鎮守
神八井耳命の御子天健磐龍命神武天皇宮居の蹟に御
社を建て天皇を祭ると爾來年所を經明治十八年官幣
大社に列せらる本年社殿を改造し結構壯麗神威益赫
灼たるを仰ぐべし



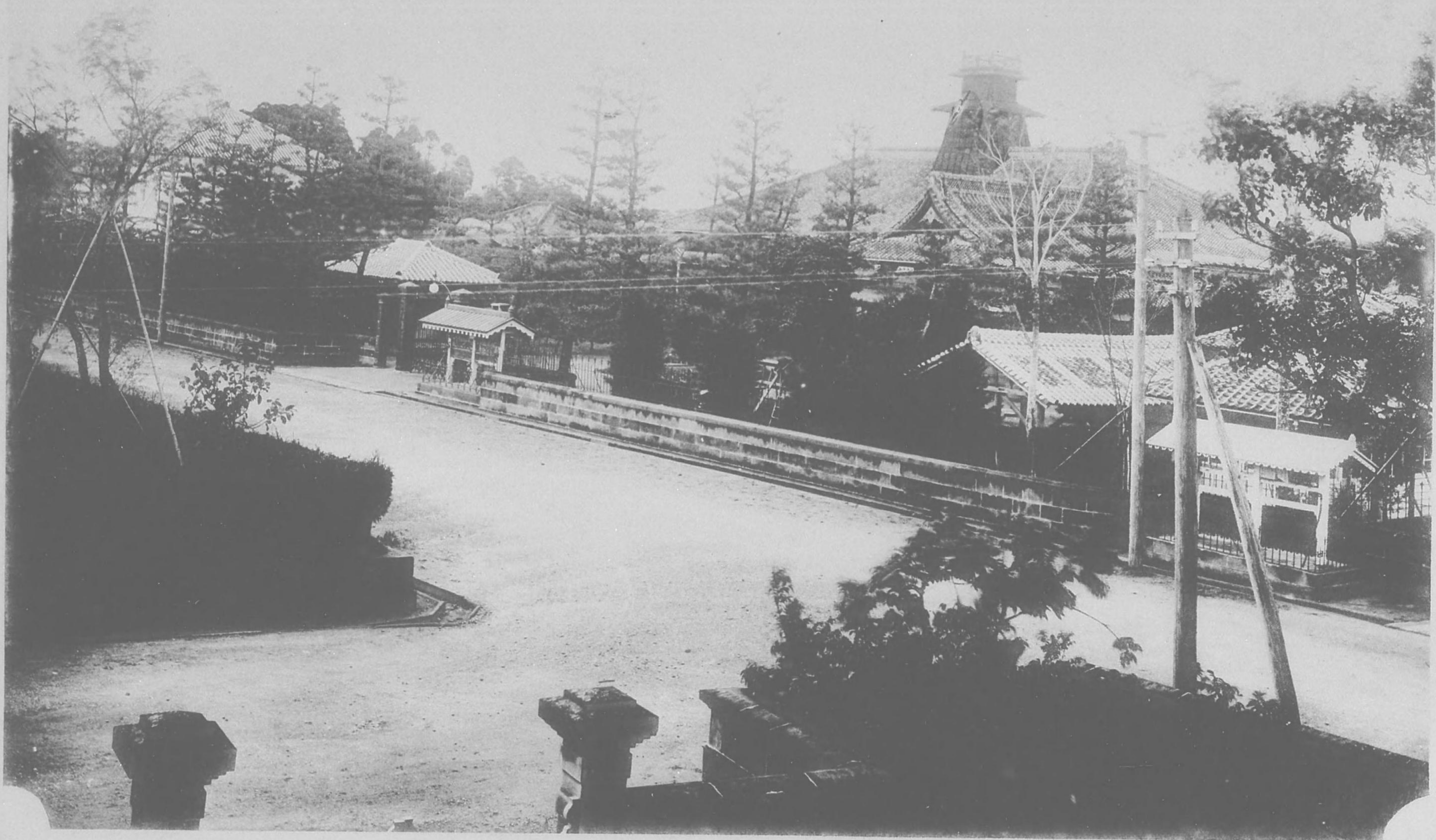
宮崎宮神苑

明治三十二年神武天皇御降誕大祭の典あるに際し開設せし所にして面積約二十町歩丘あり池あり樹うるに松杉檜等三万餘株を以てす是亦當年の植栽に係り未だ森嚴崇高の觀をなすに至らざるも遠近の眺望頗る佳なり



宮崎縣廳及縣會議事堂

明治七年五月舊宮崎縣の廳舎として新築し再置縣に
際し又之を充用せり左方の二階建は縣會議事堂にし
て明治十六年十二月の建築に係り三十四年參事會室
外一棟を増築せり



御旅館紫明館

明治三十二年依仁親王殿下御來縣あ
らせらるゝに當り御旅館に充てんが
爲め宮崎町費を以て新築せしものな
り大淀の巨流に枕み洋々の水を隔て
て青松に對し遠山を望み風光頗る佳
なり本年畏くも東宮殿下の行啓あら
せらるゝに際し更に増築して御旅館
となす

内海港

東宮殿下宮崎へ行啓あらせられし御
上陸の所にして宮崎を距る五里二
十町港内廣からざるも縣下中央部に
於ける物貨の集散地たり

宮崎市街

置縣當時は寂寥なる一農村なりしが
今は戸數二千三百三十三戸人口一万
千八百六十六人となり縣下第一の市
街なり大淀川町の南境を流れ架する
に一大橋を以てす橘橋と云ふ長さ二
百餘間縣下の最大橋なり

一ツ葉濱

宮崎町の東方約一里檜村にあり東は
渺茫たる大洋に面し青松白砂相映し
て風光明媚なり老松蟠屈する所稻荷
社を安置せらるゝ邊孤葉の松樹多し
一つ葉の稱蓋し是より出たらん

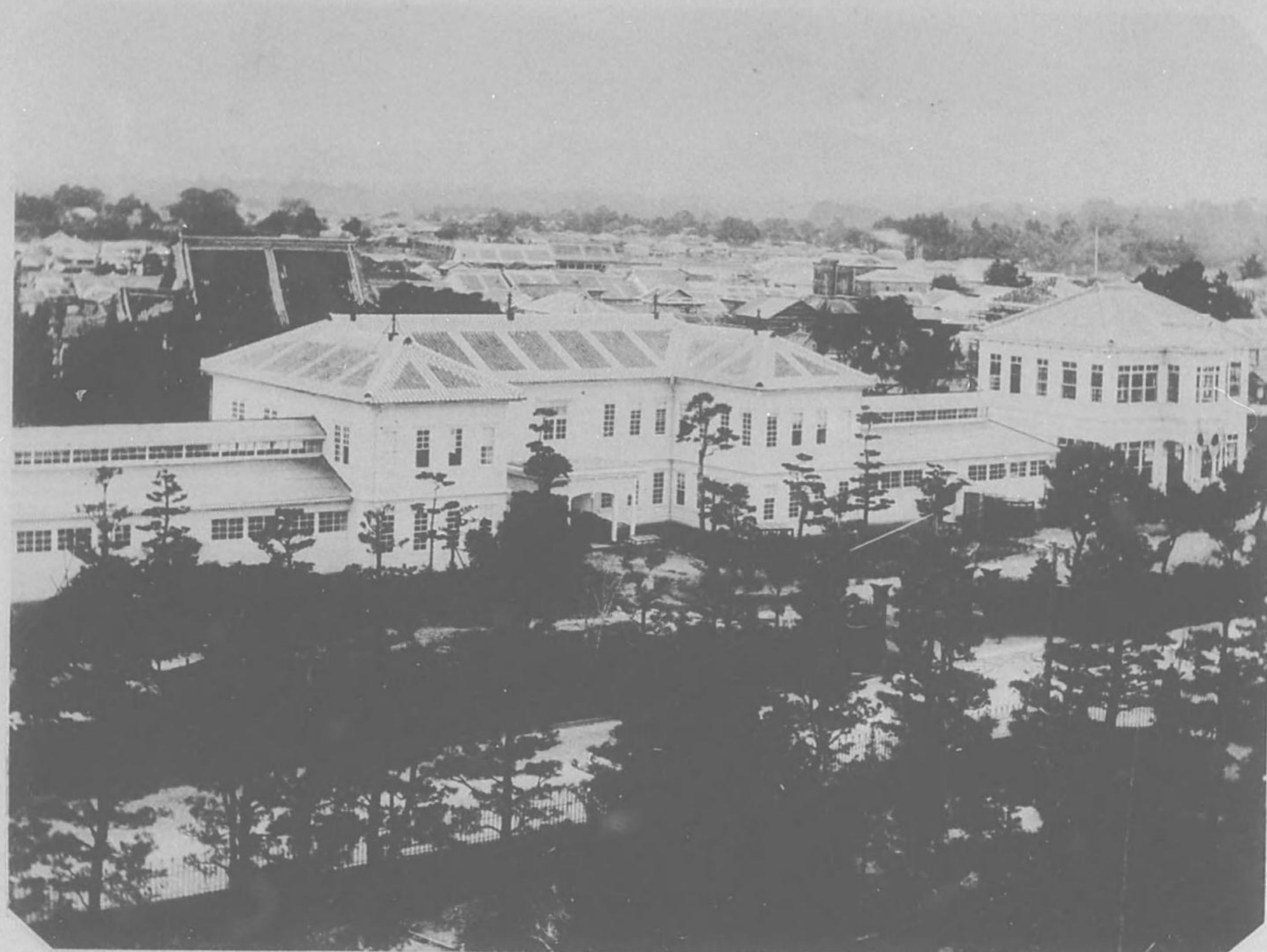
朝日さす憶か原を詠むれば

うつる日影も波の白木線

立花の小戸の鹽瀬にあらはれて

むかしふりにし神そこの神

宮津市街



縣立宮崎中學校

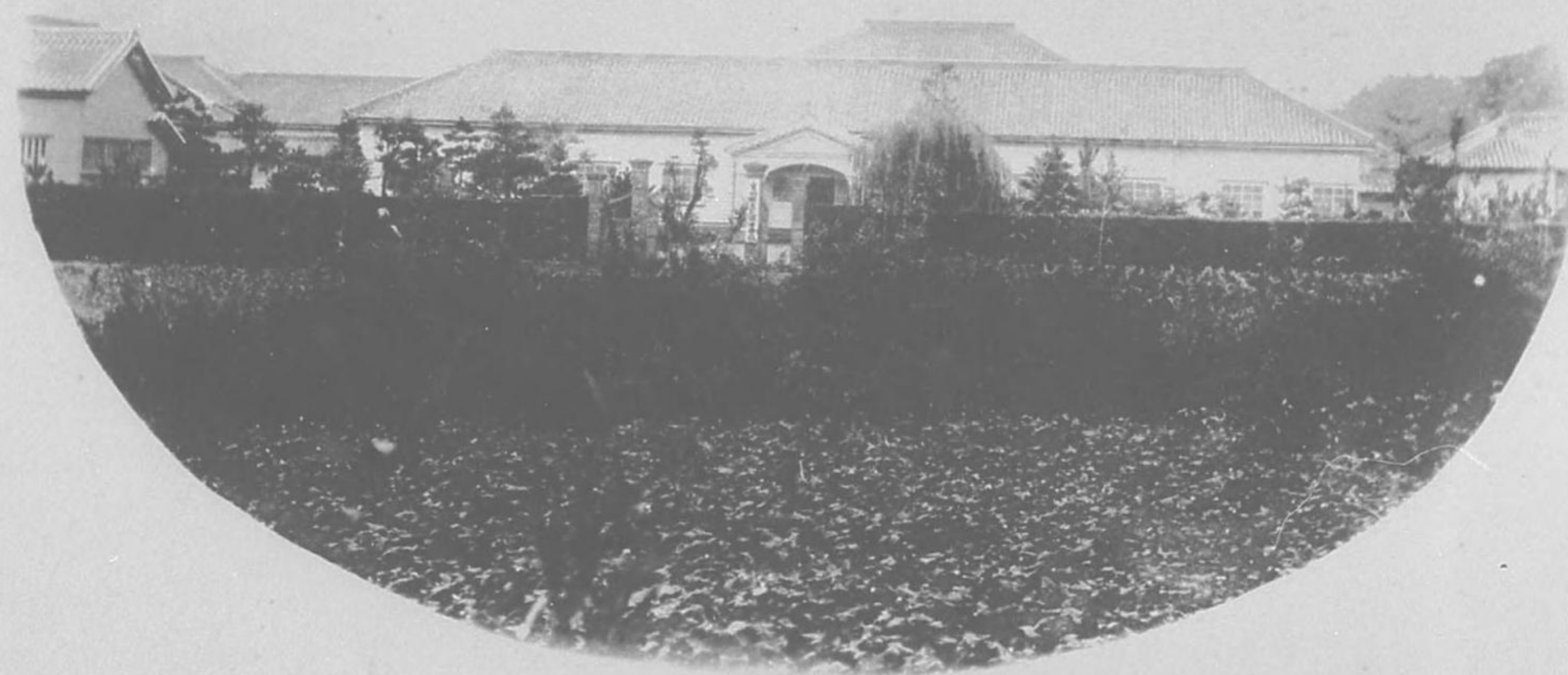
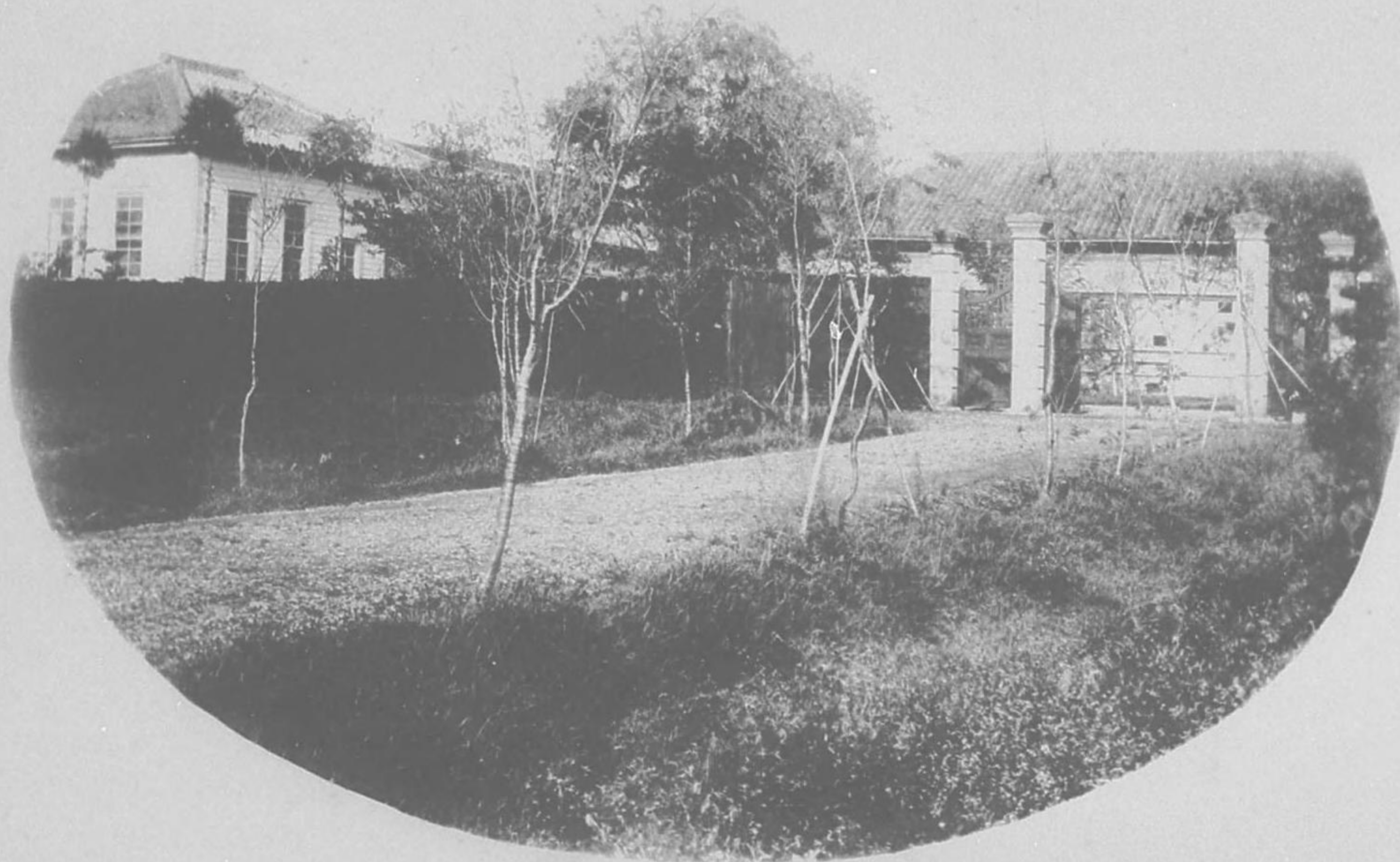
宮崎郡大宮村下北方に在り明治二十二年の創立にして現在の生徒數五百七十二人あり卒業生五百八十三名を出せり

縣立延岡中學校

都城中學校と同年の創立にして縣北部の學生を收容す現在生徒數三百八十四人東臼杵郡岡富村に在り

縣立都城中學校

北諸縣郡都城町に在り縣下舊薩藩の健兒を收容す明治三十二年の創立にして現在生徒數三百八十九人あり



瀨立浜岡中學校

國富尋常小學校

宮崎を距る二里宮崎郡赤江村に在り
東宮殿下御休憩所に充てさせらるゝ
所なり

青島

宮崎を距る四里縣道附近に在り潮満
つれば則ち島となり干れば即ち半島
たり周回半里島中茂生する所の植物
概ね熱帶地方の産にあらざるはなく
足一たび此地を蹈む者其の珍木異草
の多きに驚かさるはなし殊に枇榔樹
は全島を覆ひ四時青々眞に青島の名
に負かす中に祠あり彦火々出見尊豊
玉姫尊鹽筒命三柱の神を合せ祭る
東宮殿下御小憩所は此島の入口に設
けさせられたり

さくら川瀬々の白波しけゝれば

ほのかに見ゆるしだの浮島



宮崎多里の二里宮崎港赤五林の海
園富尋常小學校

宮崎種馬所

宮崎種馬所は馬政局の主管に屬し西諸縣郡小林村大字細野に在り明治三十一年の創立に係り現下繋養の種馬頭數は六十餘頭にして宮崎、鹿兒島兩縣下の優等牝馬に交配し以て駿良馬匹の蕃殖を圖れり

軍馬補充部高原支部

本支部は鹿兒島縣谿山郡谷山村より明治三十五年六月縣下西諸縣郡高原村に移したるものなり放牧場は霧島山麓に沿ひ高原小林飯野の三村に跨り延長七里に亘り約五千町歩の面積を有す現下飼養の馬匹は三百數十頭に於て主として宮崎、鹿兒島兩縣下に於て購買し育成の後第六師團を始め其の他に補充せり

宮崎競馬會

宮崎競馬會場は宮崎宮神苑の前面に設置したるも周圍及幅員に缺くる所あり新に其の東方に位せる宮崎郡大宮村大字大島地内に設置せり其の周圍は一哩にして幅員九十尺とす競馬場の外馬見場及通路敷地として四千餘坪を需め馬場敷の分を合せ一萬八千餘坪あり本會は社團法人として曩に馬政局の認可を得たれば今後春秋二季に競馬を舉行することとせり



宮御新田
宮御新田の風景
宮御新田の風景
宮御新田の風景

宮崎縣農事試驗場

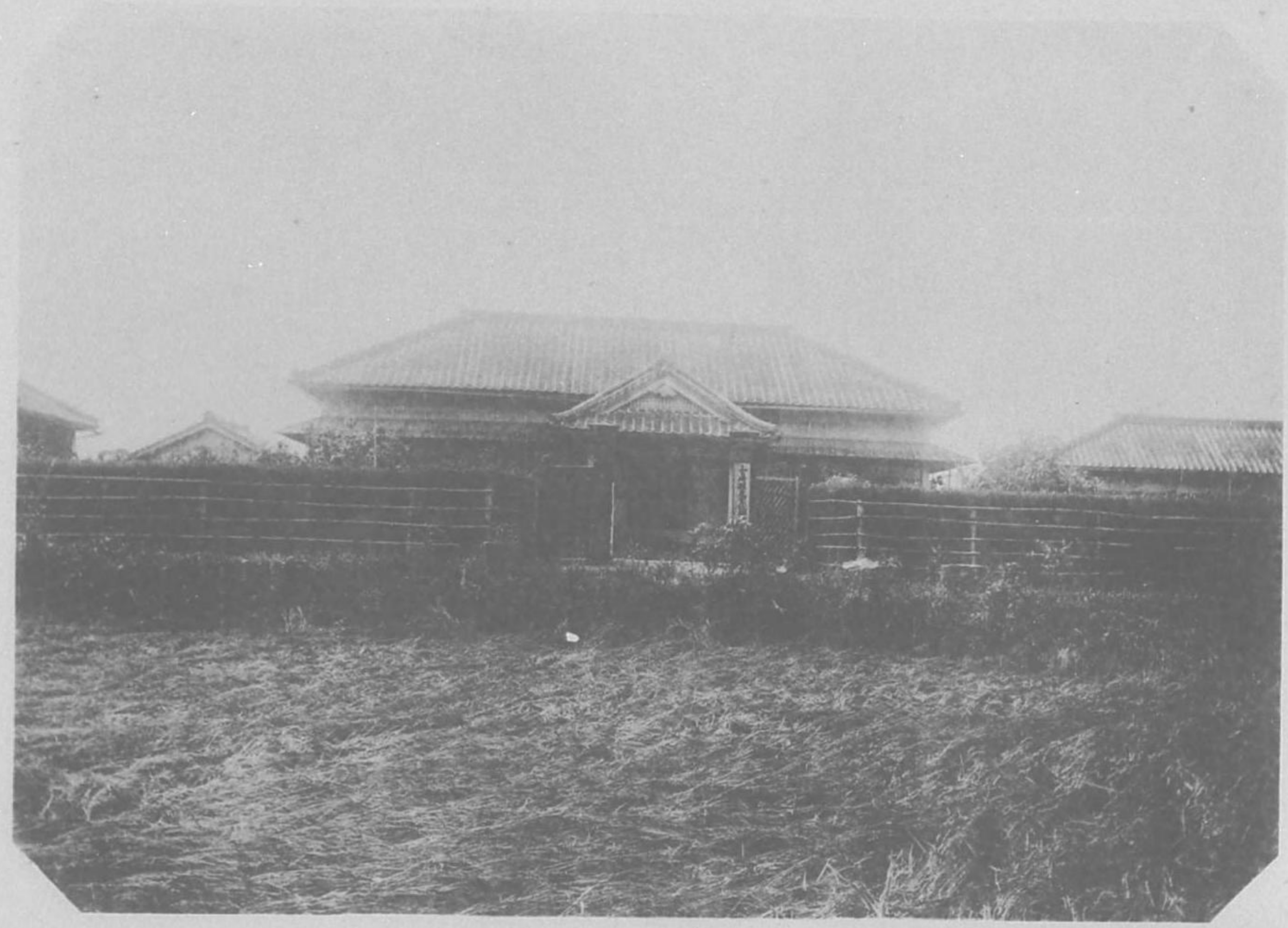
明治三十二年四月宮崎郡赤江村に創設し現今田八反歩畑三町歩の試驗用地を備ふ本場に於ては農作物の耕種、肥培の試験を主とし肥料並土壤、農産物の分析鑑定其の他種苗の養成配賦昆蟲の試育調査を行ふ等農事改良施設上に貢献するところ尠からず

宮崎縣勸業物品陳列場

明治十八年の創立にして縣内の生産品を主とし勸業上参考となるべき他府縣の物品其他圖書統計等をも汎く蒐集陳列して一般公衆の縦覽を許し智識の啓發を圖り産業施設の資に供せり

宮崎縣水産試驗場

明治三十六年四月の創立にして縣廳を距る南四里宮崎郡青島村大字折生迫に在り設立以來日尙淺きも試驗事業中特に成績顯著なるは鯖延繩漁業、小臺網漁業、鰯漬、漁業、鯉節製造傳習並養鯉事業等にして本場設置以來新に利源を開拓せしもの多し



此等諸本郷の城了りて其の城の概観
 端了其今田八又其城三四也の城観
 即番三十二卒四日宮御番亦其林の
 宮御總費車馬銀也

霧 島 山

有名の噴火山にして本縣西諸縣郡と鹿兒島縣との界に跨り海拔六千八百餘尺東西兩峰あり東を矛峰と云ふ天の逆矛あるは即ち是なり西を韓國嶽と云ふ又東霧島西霧島の稱あり山麓に温泉あり浴客多し

縣社狹野神社

霧島山の麓西諸縣郡高原村に在り神武天皇御降誕の靈地なりと傳ふ並木の老杉周圍概ね一二丈森々として天を摩し實に偉觀を極め崇高の氣境内に盈つ

谷の野火山コジノ本郷西齋野淵
霧島山



鞍 埼 燈 臺

鞍埼燈臺は南那珂郡南郷村字大島の南端北緯三十一度三十一分東經百三十一度二十五分の位置に在り明治十七年八月の創立にして九州東海岸航路の要衝に當れり其の構造は白色十二角形「コンクリート」造にして第一等回轉白色毎三十秒時間に一閃光を發す

梅 ヶ 濱

南那珂郡油津港の東南十數町に在り古昔梅莊のありし所なり白砂青松相連り遠く有無縹渺の間に眠るが如き吹毛井岬を望み近く白波怒號の中に浴するが如き風田岬一帶の青松を見る巨岩怪石海中に錯立危峙し千態万狀激浪之に觸れて山岳の崩るゝが如し山は青く水は清く風景佳絶たり

都城市街

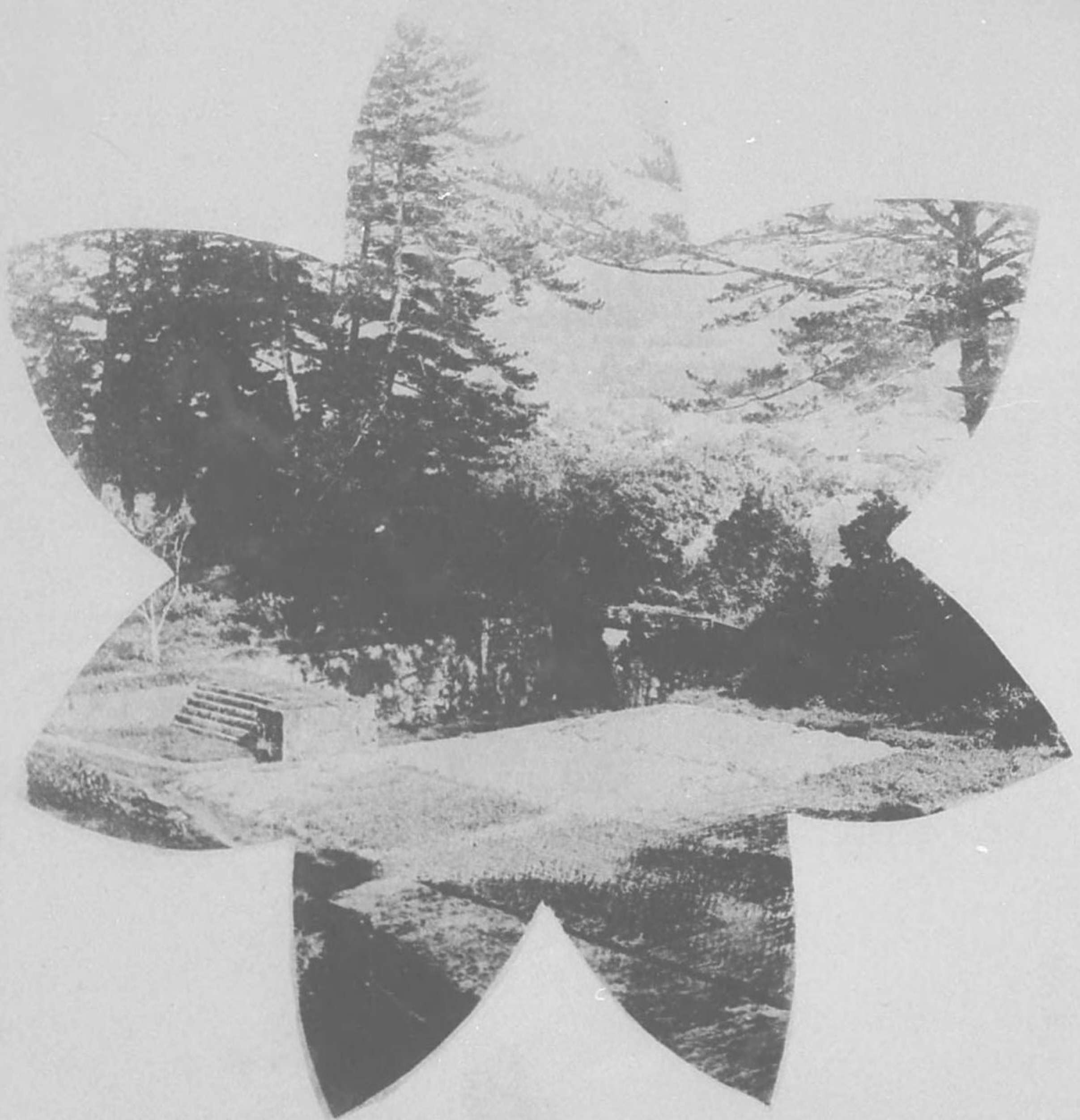
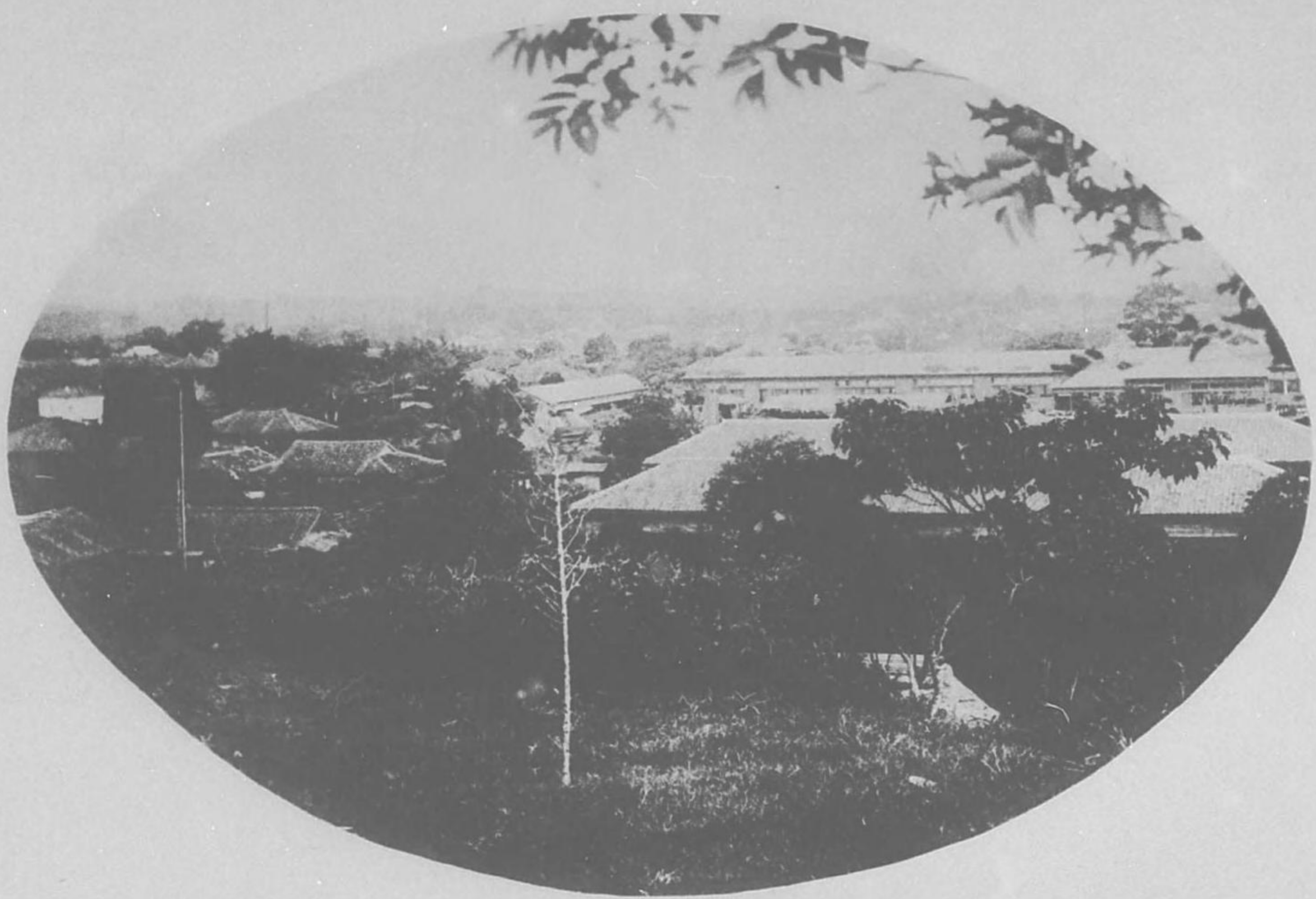
北諸縣郡役所々在地にして明治四十年第六十四聯隊兵營を此地に置かる商業繁盛の市街なり

佐土原市街

徳川幕府の時島津氏の居城ありし所にて稍繁華の都邑なり宮崎を北に距ること四里

飢肥城趾

元島津氏の所領なりしを永祿年中伊東義祐之を取り天正の頃又島津氏の所領となりぬ後伊東氏又復此地に封せられ十四世相傳へて爰に居り明治維新に至れり南那珂郡役所は城趾の下に在り



富士原市の風景
富士原市の風景

官幣大社鵜戸神宮

東海の激浪奇巖を撃ち鯨聲怒號する所日子波激武鷗
鷗草葺不合尊御降誕の靈窟あり東西二十一間南北十
六間中に祠あり境内は殆んど七万坪平地には白砂玉
を鋪き山林には老樹枝を交へ四邊俗塵を拂ひて心神
の淨きを覺ゆ窟前の海岸は危崖絶壁斷齧相望み奇岩
怪石基布相倚り怒濤之に觸れて噴沫空に迸り雨雪と
なり煙霧となる遠く蒼洋を望めは穩波千里山影蒼茫
白帆風に孕み崖下澎湃の勢に似す實に崇高にして雄
大、清淨にして壯嚴なる神域なり南那珂郡鵜戸村に在
り宮崎を距る十里餘

縣社榎原神社

南那珂郡榎原村に在り大日靈貴尊外
五神を祭神とす社宇宏壯にして四時
參拜の人絶ゆることなし



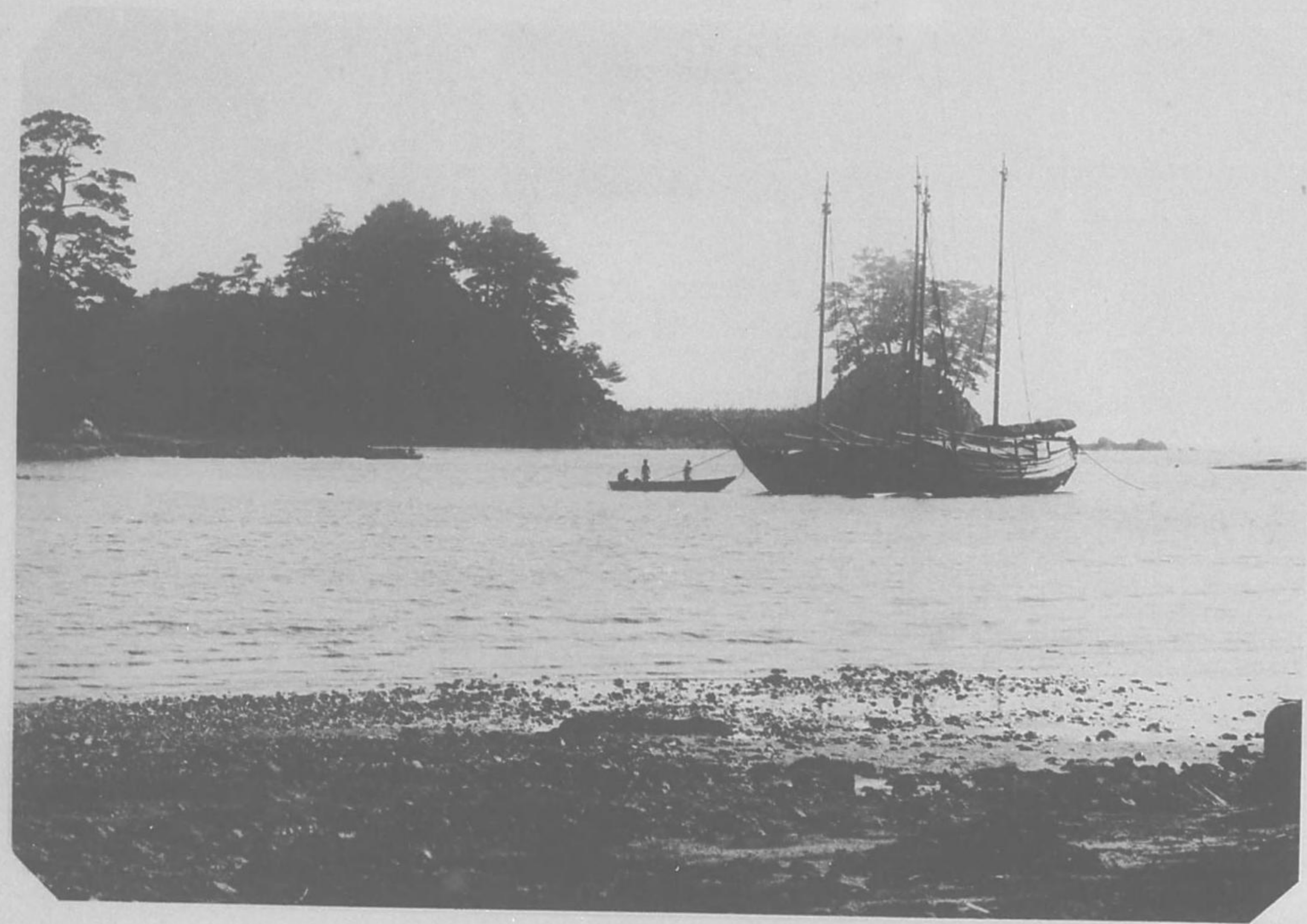
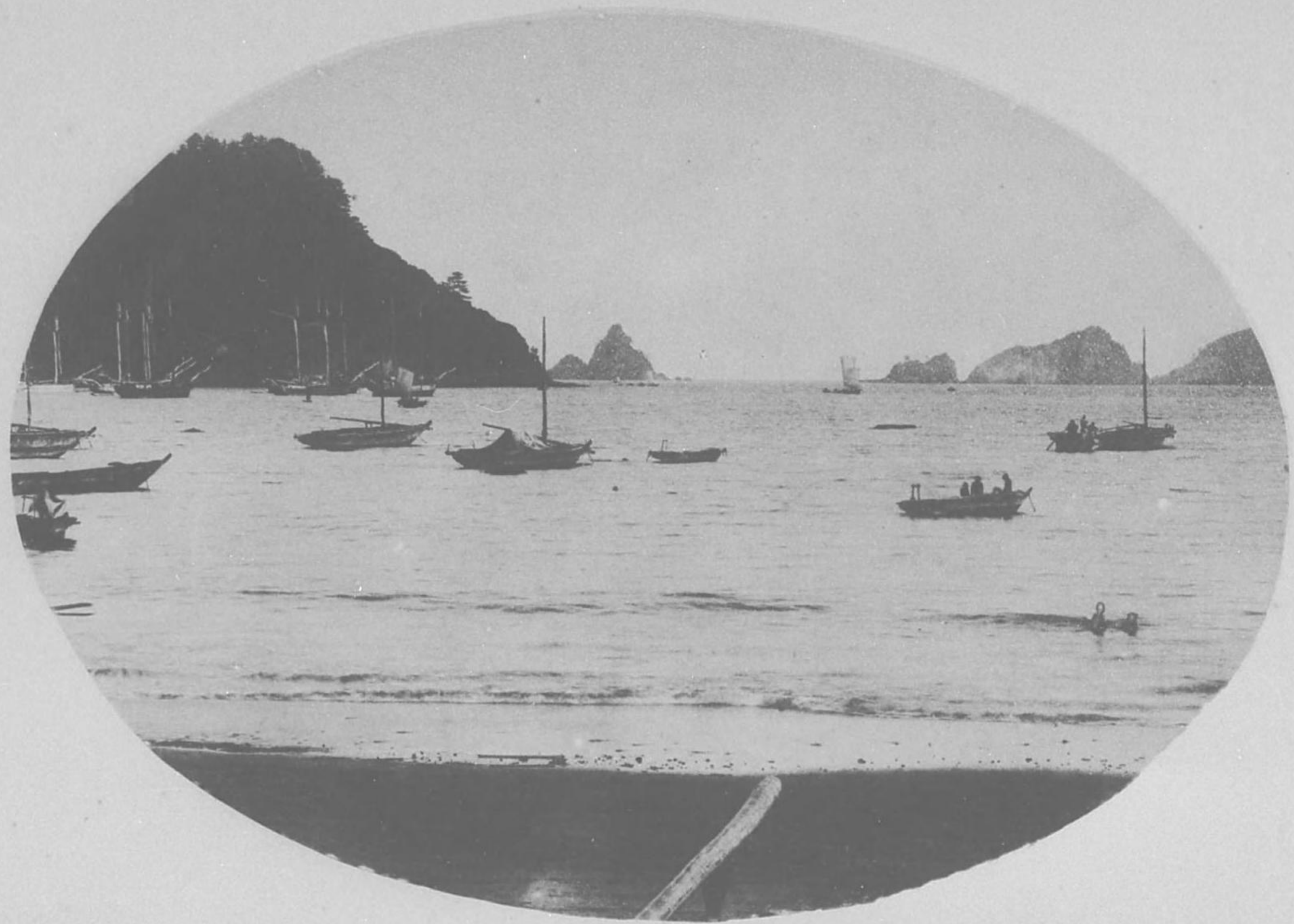
の箱をさ覺の窟前の新草お流道跡望欄腰膝入香岩
 さ餘を山林にお注樹好さ交へ四敷谷壘さ附ひ了心軒
 六間中二隔あり紙内お故ふり了平紙にお白極五
 辨草葺不合尊崎利堀の靈窟あり東西二十一間南北十
 東新の地所奇巖さ攀よ繩懸懸繩をる視日千勢矯瓦礎
 官溜大泳鎌可輻宮

油津港

細島鹿兒島間に於ける要港にして汽船帆船の出入頻繁なり南那珂郡の貨物は多く此港より輸出す漁業亦盛にして精良の鯉節を出す皇太子殿下御乗艦の碇泊せる所なり

福島港

縣下最南の名邑にして舊高鍋藩領たり港は有明灣内に位し船舶の出入尠からず亦縣下の一大漁場たり



由華卷
海島風景間の気むる要巻の了了

宮崎郡立職業學校

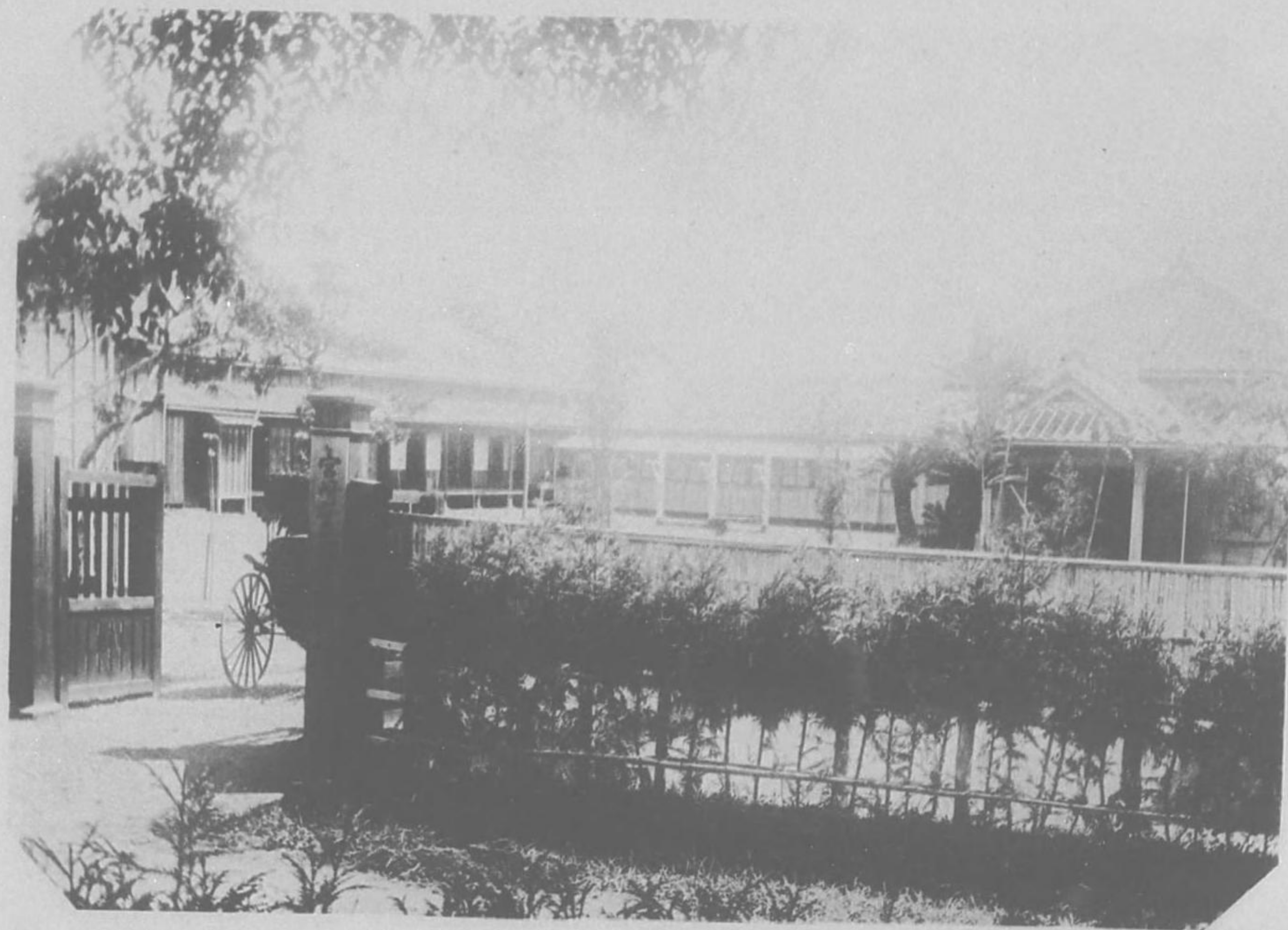
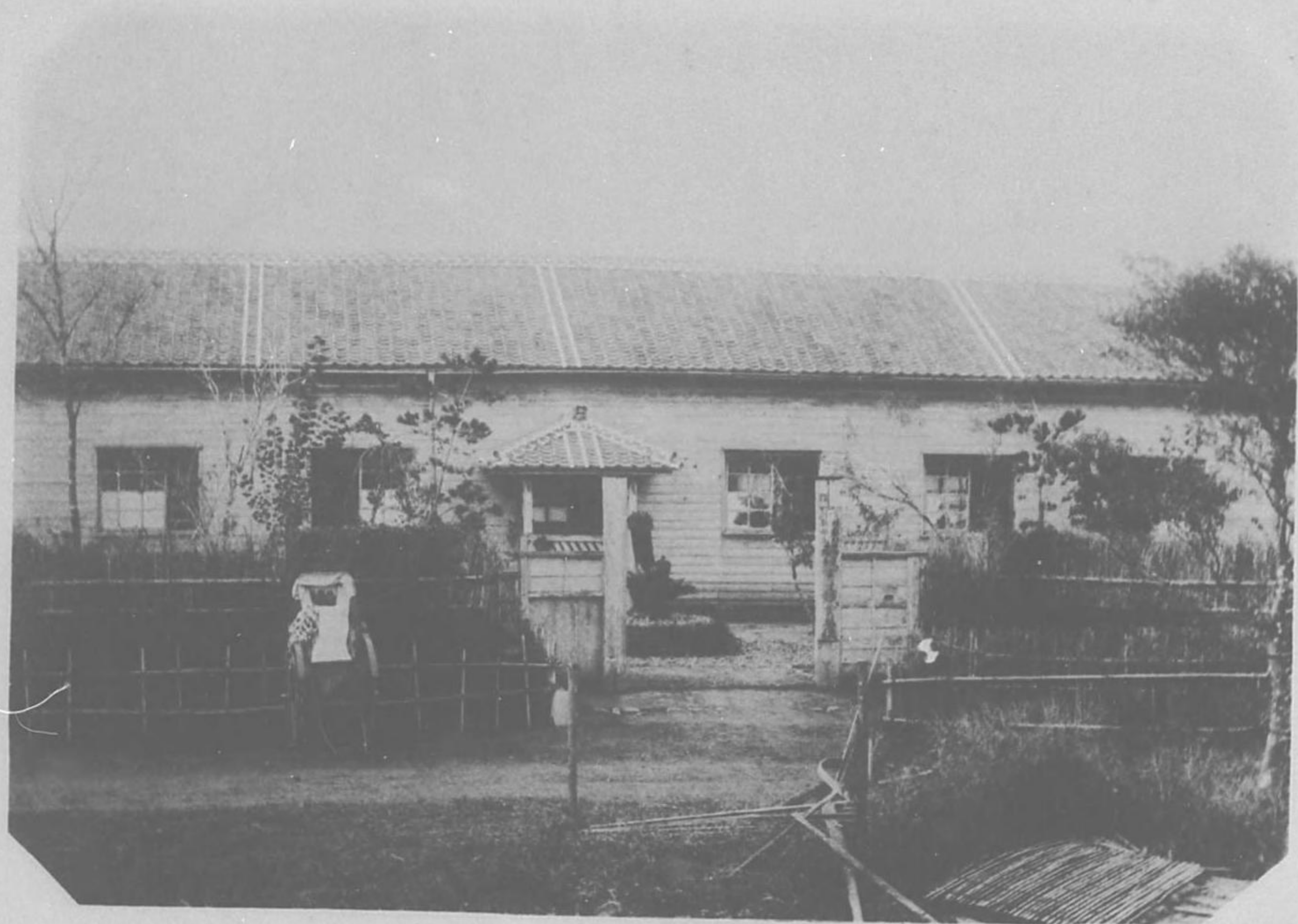
宮崎町に在り三十七年の創立にして
男女子兩部に分ち男子部は木竹工、漆
工、女子部は染織、裁縫の各科とし男生
六十人女生六十七人を收容す

縣立農學校

宮崎郡赤江村城ヶ崎に在り明治三十
三年の創立に係る農科、林科、獸醫科、養
蠶別科の四科に分つ生徒數百九十二
人

北諸縣郡立女子職業學校

都城町に在り縣下職業學校の嚆矢に
して明治三十五年の創立に係り現在
生徒八十七人なり



工、文、千、藩、の、業、辦、録、の、各、種、を、丁、目、主
 民、文、千、兩、藩、の、衣、と、民、千、藩、の、木、竹、工、務
 宮、御、田、の、五、と、三、十、子、卒、の、除、立、に、了、了

宮御田立御業學寮

宮崎縣農會苗圃

本會苗圃は桑苗、果樹苗、及採種圃の三種にして桑苗圃は明治三十四年創めて之を設け年々桑苗約一百万本を育成して縣下各郡に配賦し果樹苗圃は明治三十五年より着手し主として柑橘苗を育成せり採種圃は明治三十九年之れを創設し専ら特用農産物を耕作し其の收穫物を種子用として縣内當業者に無償配賦せり苗圃の傍らに鶏豚舎の設あり明治三十五年より種禽卵並仔豚の配付を行ひ之れか改良蕃殖に資せり

住吉村共同苗代田

明治四十年年度施設に係る縣内共同苗代田中最も能く整備したるを宮崎郡住吉村共同苗代田とす本苗代田の共同者は四十七名にして新に壹町六反歩の土地を購入し之れか整理を施行し苗代跡地は稻作共同作業により共同者の蓄積金を造成するの計畫なり本年の播種稲量は十九石七斗二升にして四名の管理者を置き灌溉排水其の他害虫驅除豫防等に周到の注意を拂へり

東郷村耕地整理

南那珂郡東郷村耕地整理は明治三十九年八月の起工に係り既に整理を遂けたるもの三十五町歩に達し測量設計は全部終了せるを以て來る四十二年度迄に同村六百有餘町歩の整理を完了するの目的にて經營着々其の歩を進めつゝあり



同様の蓄積金を並列するの指書
 一苗升福地は諸君共同作業の共
 共の土地を租入し之の地を整理し
 同様の四十畝を各一丁種に壹四六
 升吉林共同苗升田を本苗升田の共
 升田中最も備へ整理し之を宮崎縣
 同様の四十畝と整理し之を宮崎縣
 同様の四十畝と整理し之を宮崎縣

升吉林共同苗升田

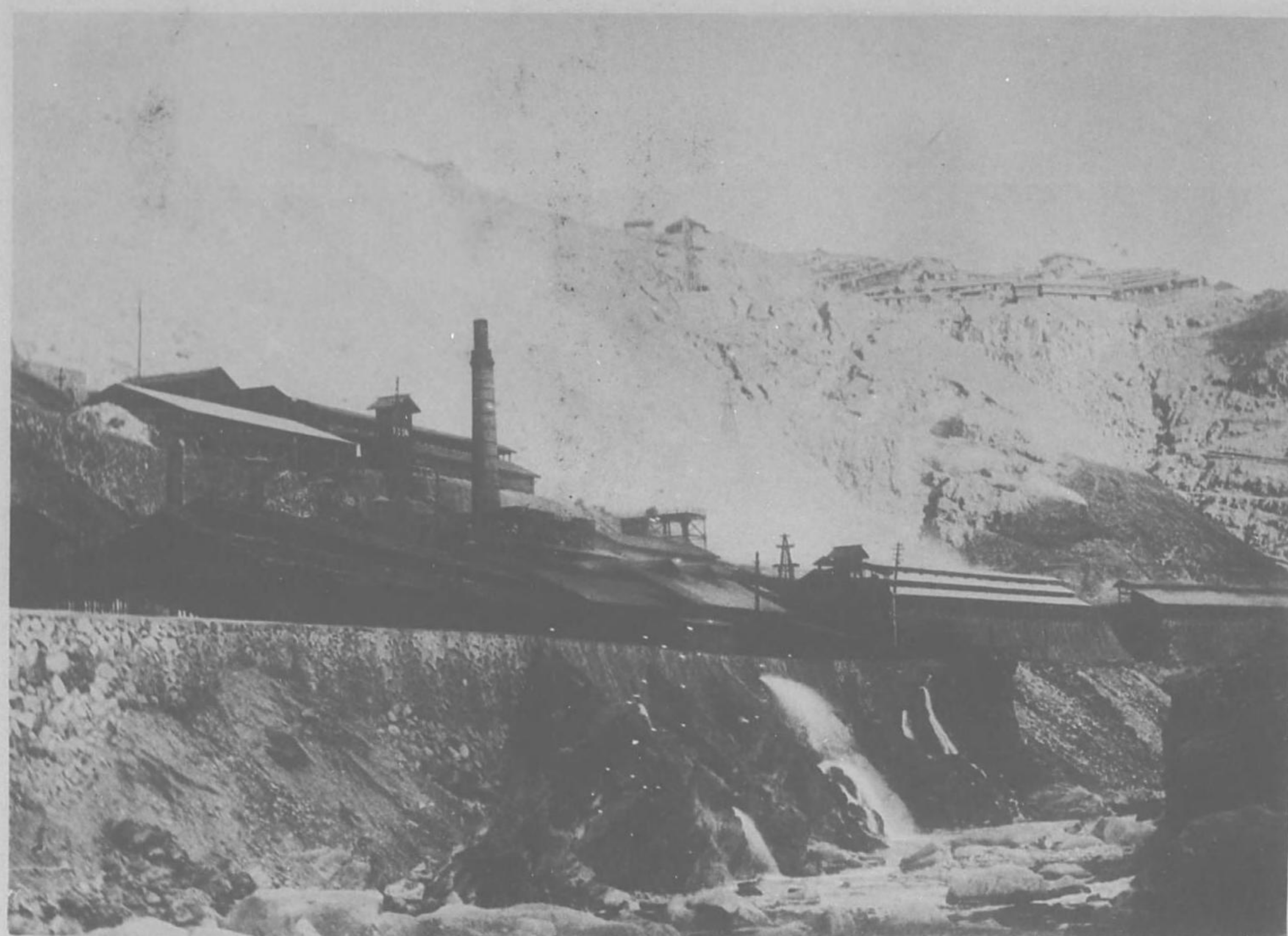
日平鑛山

日平鑛山は東白杵郡北方村に在り舊延岡藩主内藤子爵の所有に係り現今探掘鑛區壹百三萬餘坪產出型銅年額壹百五十萬斤内外にして發電所二ヶ所原動力八百七十馬力を有し事業年を逐ふて擴張せり

槇峰鑛山

三菱合資會社の經營する所にして西白杵郡七折村字槇峰及東白杵郡北方村字猿渡の二鑛區に涉り一晝夜鑛石溶解高壹萬二千貫にして型銅產出月額七八萬斤とす電流は坑内運搬、排水及索道に主用し傍ら各工場の電燈點火に供用す日平鑛山と相並んで縣下有數の鑛山なり

該國蓄主内藤千鶴の祖宅に於て其令
日平巖山の東白井浦に於て其令
日平巖山



黒北発電所

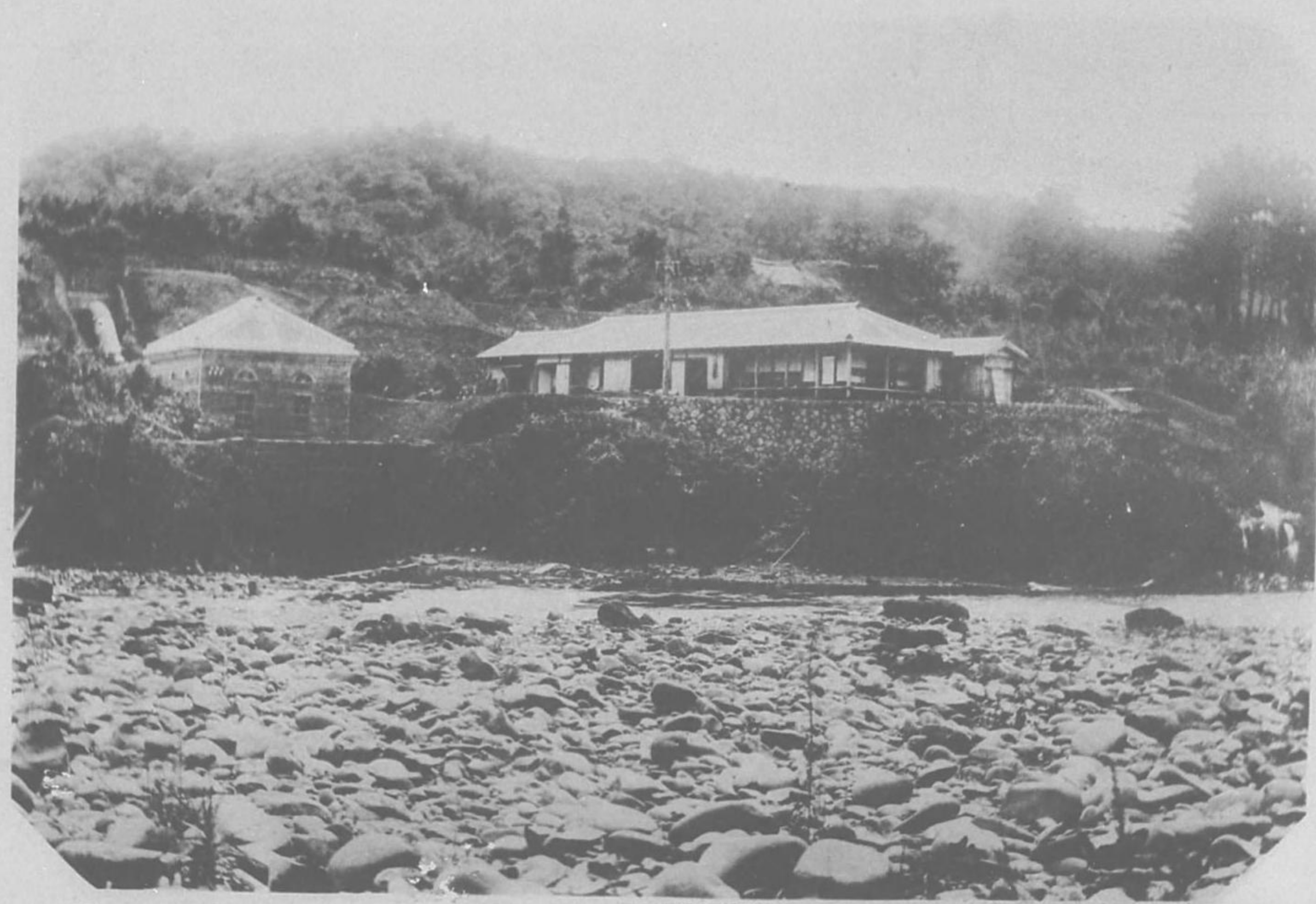
日向水力電気株式会社の企畫に係る
黒北発電所は宮崎郡清武村に在り宮
崎町を距る南西三里原動力二百馬力
を有し市内の點燈と電力の供給を計
れるを以て近時著しく工業思想を誘
發し電力應用の工場漸次勃興するの
氣運に向へり

觀音瀨瀧

高さ三十尺水量多し北諸縣郡高城村
に在り

關の尾瀧

北諸縣郡庄内村にあり前田正名の開
田一步園に灌溉する水源地たり瀧の
高さ五十二尺惟巖奇石あり水其間を
流る山中櫻樹多きを以て花時遊覽す
る者多し



多摩川市内の温泉と雷氏の湯を指
 通しを指す南西三里取道は二百四十
 黒井温泉の宮崎町新築林の寺の宮
 日向水代温泉料友會館の金書に記す

黒井温泉

國幣小社都農神社

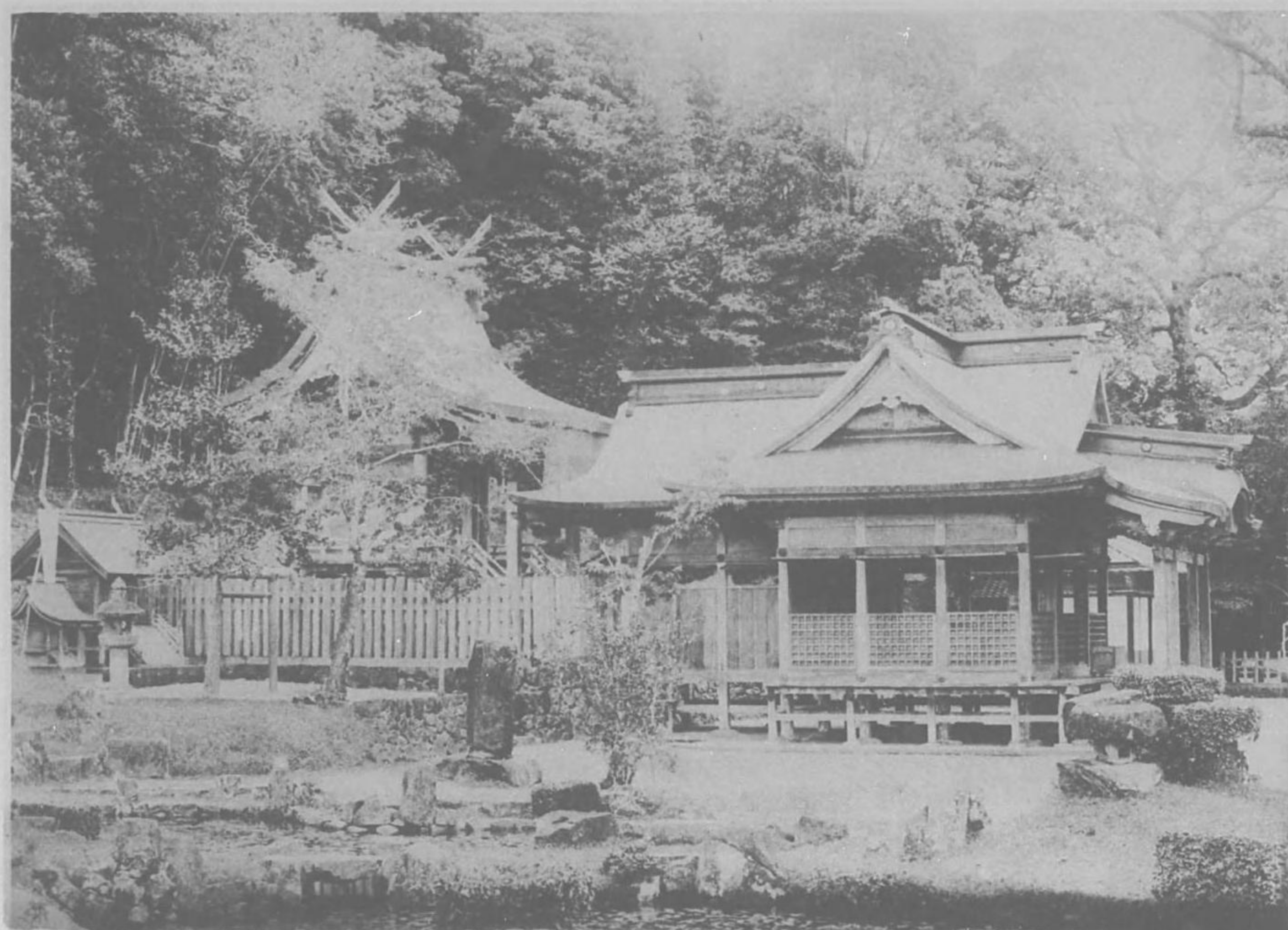
日向國式内四座の一にして兒湯郡都農村に在り一の宮太明神と稱す大己貴命を祭る一の鳥居を入れば櫻馬場あり櫻樹道を夾みて花時の詠め賞すへし二の鳥居の内に泉水あり水の清、石の珍、竹木の趣ある幽邃閑雅寔に塵外の神域なり

縣社都滿神社

是亦日向式内四座の一にして木花咲邪姫命を祭る兒湯郡下穂北村に在り老樟其の他の巨木鬱蒼たり此處にも櫻馬場あり花時の美觀云ふへからす

御陵墓參考地

兒湯郡下穂北村大字三宅村に在る二山陵なり規模壯大にして西都原の平原中に双峙す俗に男狹穗塚女狹穗塚の稱あり東北なるは之を瓊々杵尊の御陵なりと云ひ傳へ高五丈四尺陵址周圍三町四十五間餘あり西南なるは木花咲邪姫命の御陵なりと云ひ傳へ高四丈八尺陵址周圍四町四十五間餘尙れも壕隍を環らせり



皇
池
日
向
大
門
内
西
側
一
景
也
攝
於
大
正
十
年
夏
月
攝
影
者
藤
田
龍
溪

縣立高等女學校

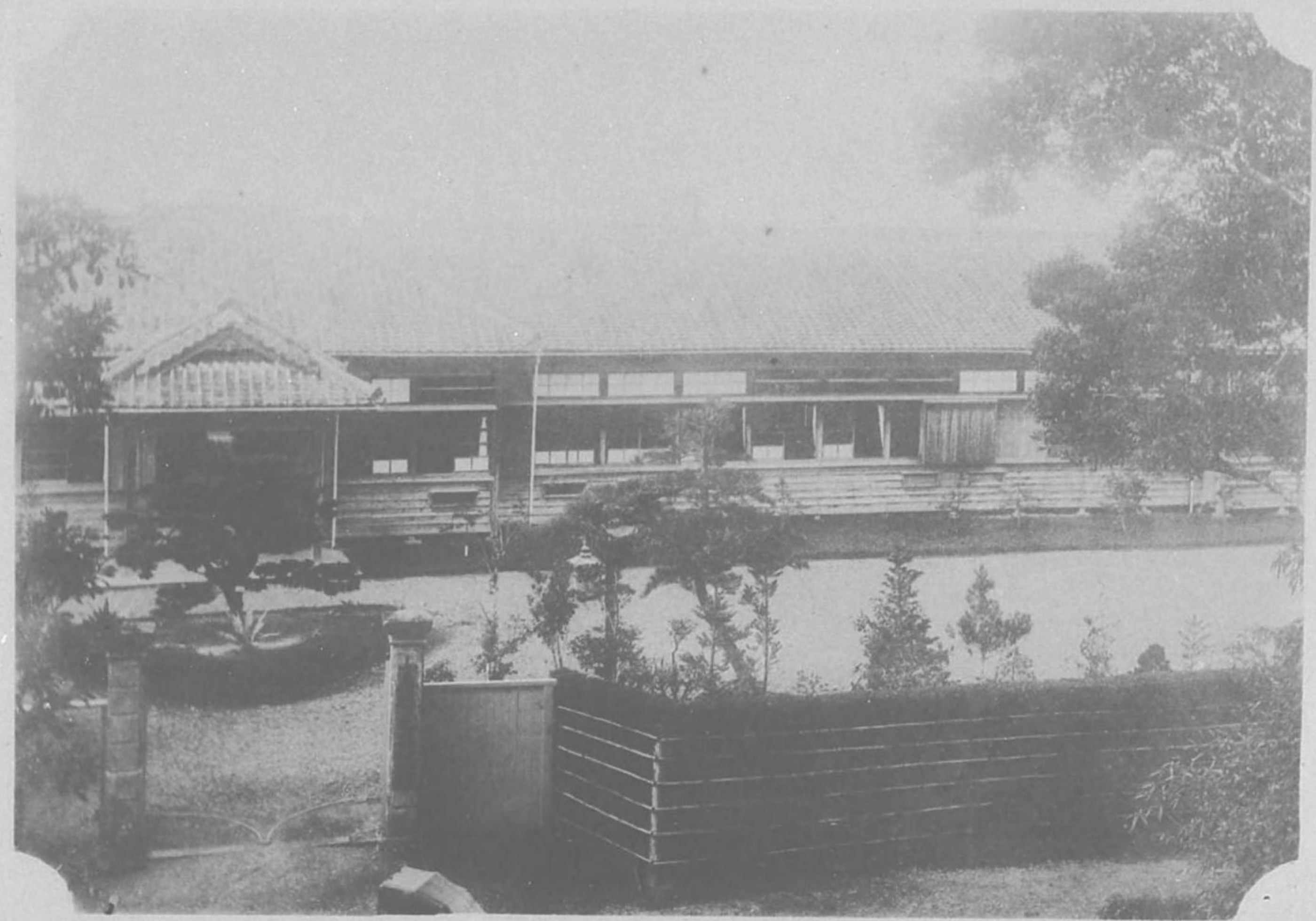
宮崎町にあり、本科の外に補習科あり
生徒數合せて二百九十七人明治三十
二年の創立たり

縣立師範學校

宮崎中學校と相並ひて宮崎郡大宮村
に在り明治十八年の創立にして生徒
二百二十人を收容す四十年より女子
部を新設す

私立延岡高等女學校

舊延岡藩主内藤子爵の設立に係り以
前女兒教舎と稱せしを明治三十九年
高等女學校となせり生徒數百十一人



宮城四ノ倉、本村の代々継承されて
瀬立高峯女學堂

縣 有 林

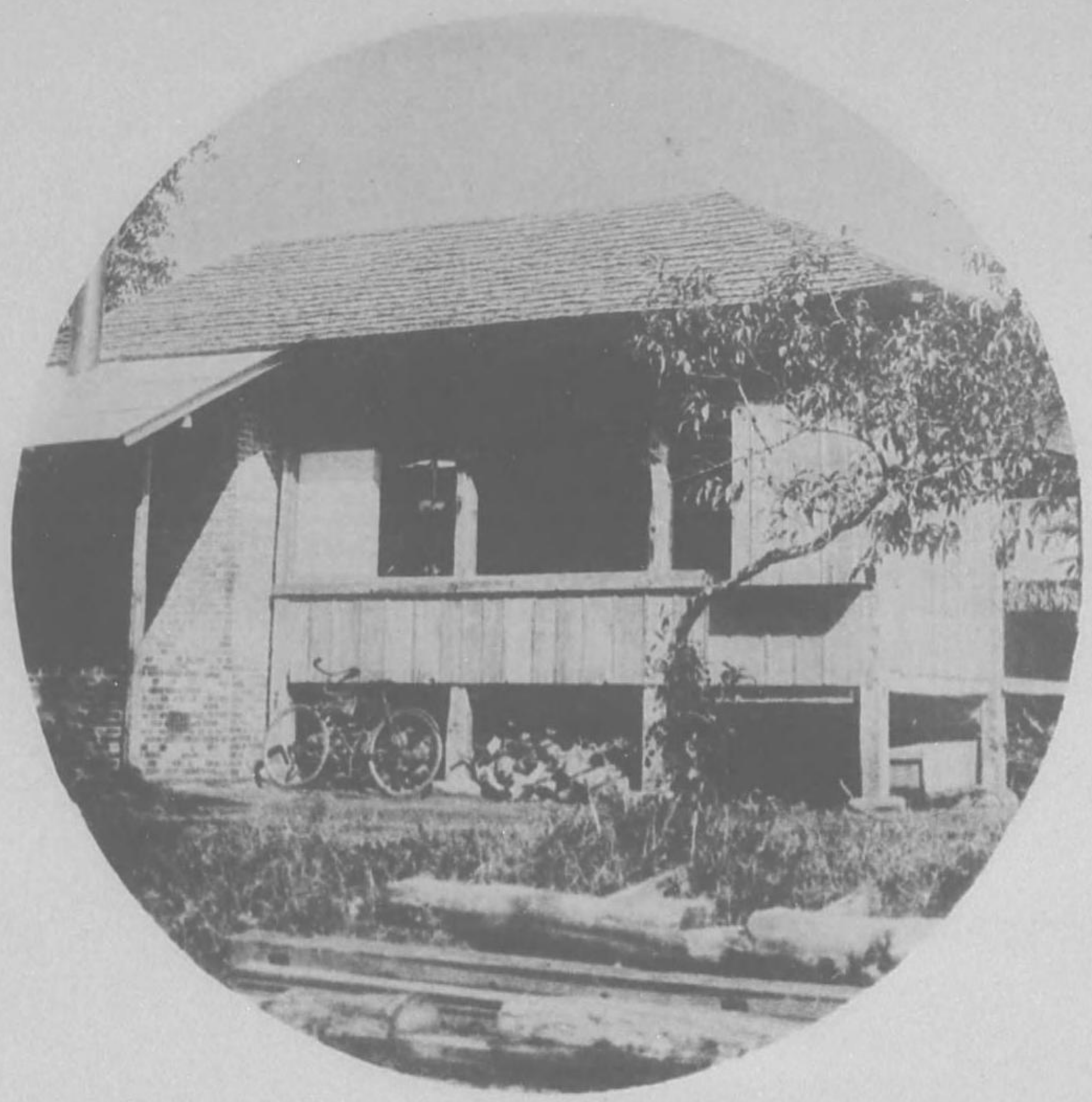
本縣縣有林は東諸縣郡綾村及西諸縣郡野尻村地内に在り元皇室御料に屬せる土地面積二千六百四十二町一反三畝歩を立木附屬舎共價格金八万貳千餘圓を以て明治三十五年度より向ふ十ヶ年賦を以て購入せるものなり購入林地は之を施業地及び不要存置林野地の二に分ち施業地面積一萬九百四十二町四反九歩は明治三十六年より經理に着手し十五ヶ年間を以て全部の殖林を了し永遠に涉りて作業を繼續し以て縣經濟の基礎を確立し不要存置林野地は公共團體其他に拂下け各團體の基本財産殖林地に充てしめたり

高原村殺蛹乾燥所

高原村殺蛹乾燥所は西諸縣郡高原村農會の施設に係り專賣特許最新林式の装置にして明治四十年五月竣功せり爾來農會員の生産したる蠶繭は悉く殺蛹乾燥を行ひ好良の成績を擧げて共同販賣上幾多資益するものあり以て會員各自の福利を増進せり

青野水流桑園

養蠶業の發達と共に縣下桑園反別は年々増加して現今三千七百有餘町歩に達せり就中東諸縣郡高岡村青野水流桑園は夙に開拓せられ其の肥培管理の注意周到なるを以て縣下桑園中見るべきものゝ一に加へらる



林此のたゞ農業世及び不要資置林裡
 々乎願を以て頼入せらるるのたゞ頼入
 圓を以て即部三十正半更もて向ふ十
 施進を立木棚風合共置部金八式版千箱
 土此面積二千六百四十二町一又三
 裡気林此内二町と元皇室職株の風を
 本郷郷官林の東藩郷林又西藩郷林

郷官林

日州教育會基本林

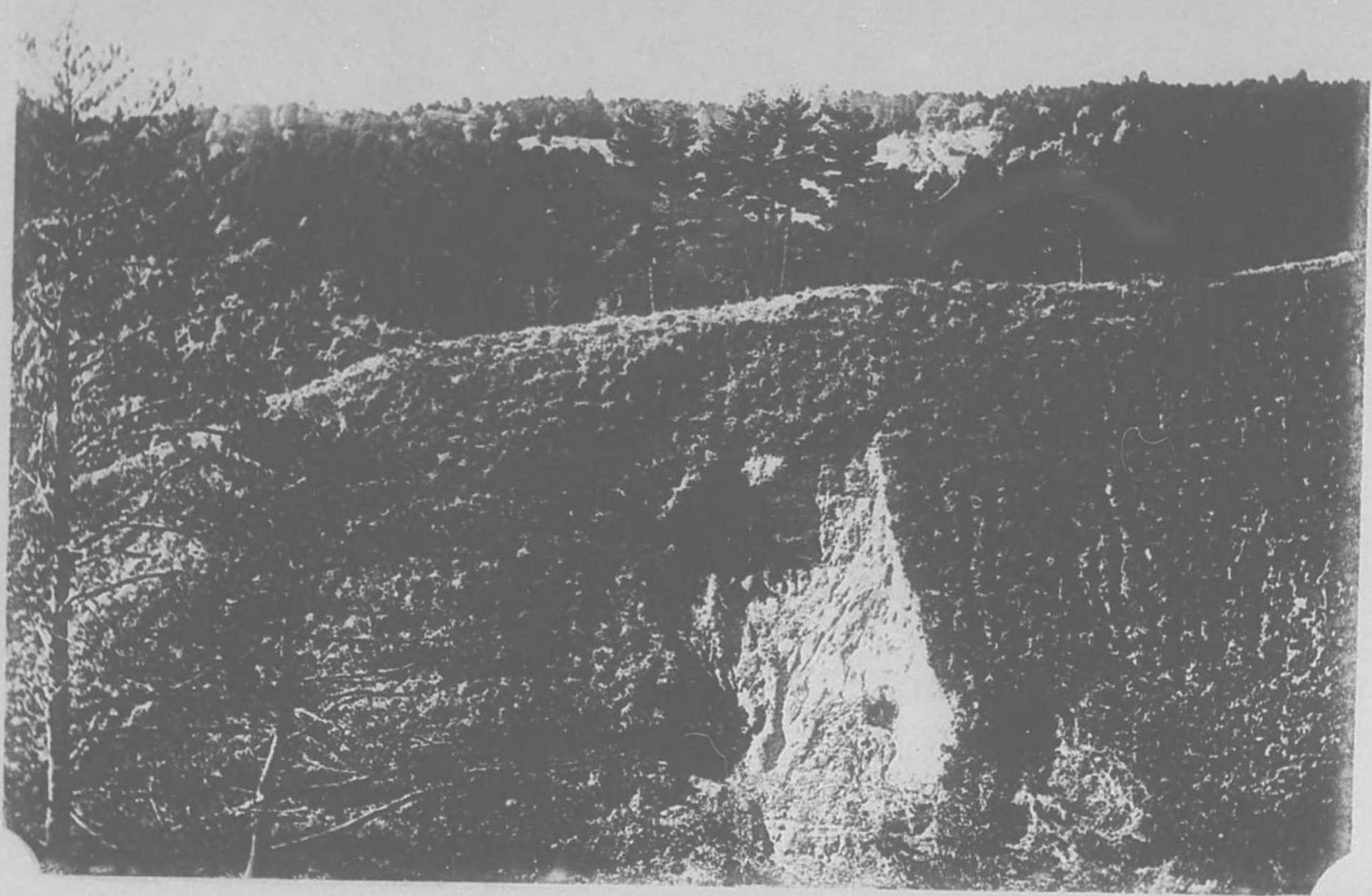
時局紀念の爲め宮崎縣有林の内東諸縣郡高岡村大字浦の名字小田の元の一部を購入設定したるものにして其の面積二十町歩より成り樹種は杉三萬九千九百四本、扁柏一萬二千四百三十九本、白楊三萬本合計八萬二千三百四十三本にして明治四十年春季迄に全部の植栽を了せり而して土地購入費及事業費は全部會員の寄附金を以て之れを支辨せり本事業の成效を待大に教育界發展の資に充んとするものなるが故に會員熱心の度極めて高し

宮崎縣農會基本林

日露戰役紀念の爲め宮崎縣有林の内東諸縣郡高岡村大字浦の名字小田の元の一部を購入設定したるものにして其の面積は三十町歩より成り樹種は杉四萬九千八百八十本、扁柏二萬五百六十七本、白楊五萬二千本合計十二萬四千四百四十七本にして明治四十年春季迄に全部の植栽を了せり

日本赤十字社宮崎支部基本林

戰役紀念の爲め宮崎縣有林の内東諸縣郡高岡村大字浦の名字小田の元の一部を購入設定したるものにして其の面積五十町歩より成り樹種は杉九萬九千七百六十本、扁柏四萬四千六百四十五本、白楊七萬五千本合計二十一萬九千四百五本にして四十年春季迄に全部の植栽を了せり其の資金は宮崎郡宮崎町太田盛橋の寄附に係る位置は宮崎縣廳所在地を距る西五里餘南に大淀川東北には熊本に通ずる縣道ありて運輸至便なり



十此本自計三萬本合積萬二千三百
 萬此千此百四本畝計一萬二千四百三
 の面積二十個走よと如く樹齡は三
 一歳より八歳までありそのうち其
 釋高岡林大宇館の各宇小田の元
 和氣縣念の森と宮瀬釋官林の内東藩

日根養育會基本林

月 知 梅

東諸縣郡高岡村高濱に在り安永天明の頃までは唯一株なりしが繁茂するに従ひ枝々地に垂れて又根を生じ今や數十株連鎖の如く蔓延して方二十間を覆ふに至る花は八重にして白し延寶元年舊藩主島津光久來り賞し詩を賦し其の名大に顯る

香積寺前有梅大二十圍盤結如_レ蓋不知_レ所_レ植_レ之_レ歲_レ蓋_レ古_レ代_レ尤_レ物_レ也

余偶過觀_レ之_レ名_レ以_レ月_レ知_レ作_レ詩_レ係_レ之_レ

老梅盤屈歲寒枝 遠出人間託_レ佛祠

移植春風今歷歲 當初唯有_レ月明知

四方の騷人墨客來り遊び國風を詠じたる者少からず

梅か香も千とせ積れる古寺の

ふかき哀れは月ぞ知るらん

八田知紀

月ならて誰かは知らん咲匂ふ

おい木の梅の春のむかしは

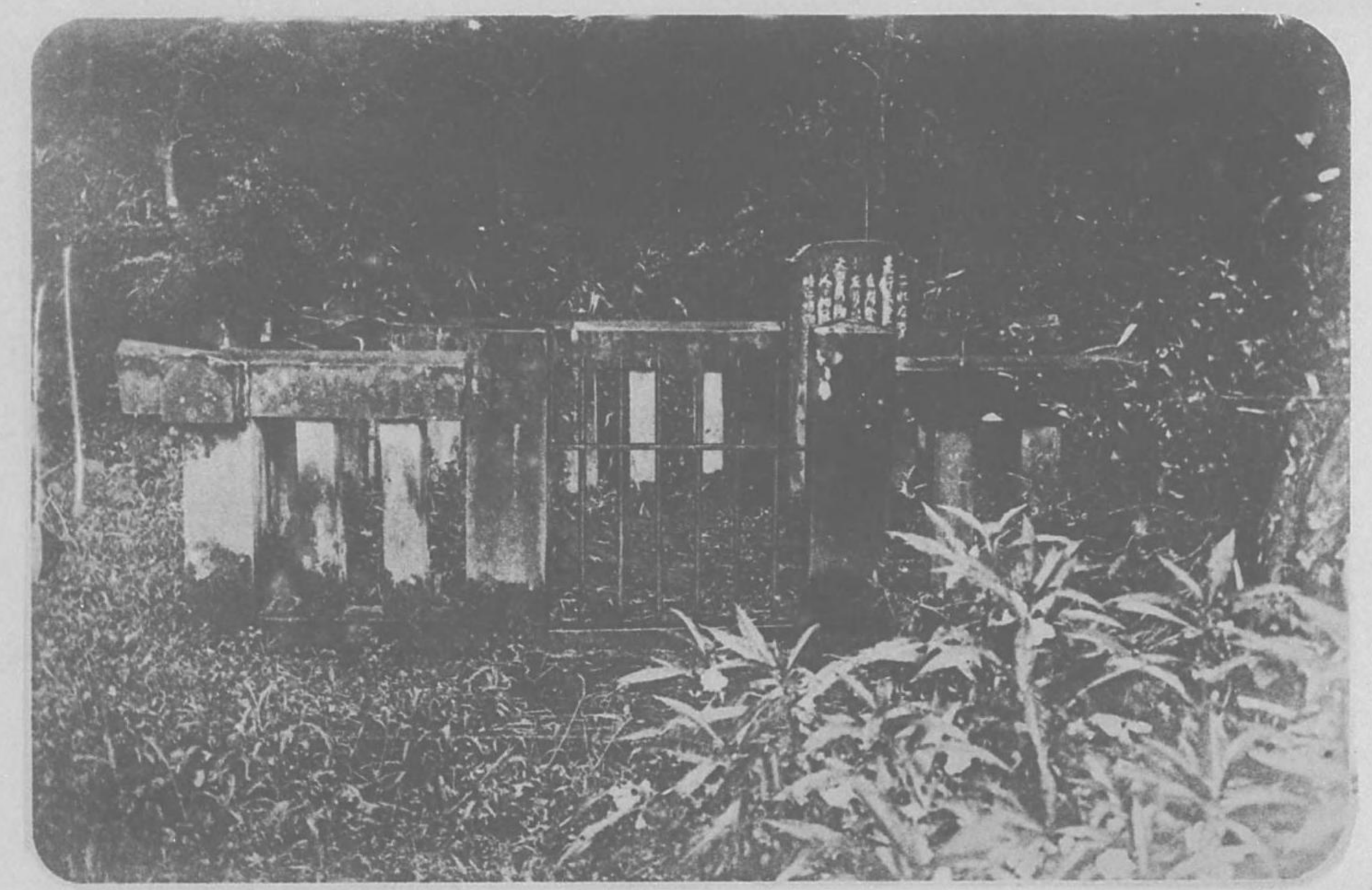
二山政勝

景行天皇腰掛石

西諸縣郡小林村の内細野に難守山と云へる山あり昔景行天皇熊襲御征伐のをり此地に一年程駐らせ給ひしと云ふ此山の麓に腰掛石とて今猶存せるもの即ち是なり

間々野に生るる柿は八重のうす白
今幾十粒重なるの味は蜜のうす白
二葉心持の如く垂れ下りて又掛りて今
の肥えたる柿一粒を口にすれば数なる
東福野高岡柿高野の柿は定永天恩

目 録



飢肥森林

飢肥地方の殖林は土質氣候の之に適すると舊藩地に於ける指導獎勵其の宜しきを得たる爲古來瀬戸内海地方に於ては伊東杉の名聲噴々として高く需用の途甚だ廣し維新後一般林政の廢弛と共に各地濫伐の弊に陥りしが幸に該地方は其の弊なく現今到る處鬱蒼たる森林を視るは誠に慶すべきなり

庄内開墾地

庄内村は北諸縣郡の西部に位する一村落到して平坦の地多く土性概ね農耕に適す明治三十二年九月有志者相謀り水害防禦及灌溉の爲水源の變更築堤並用水路開鑿起工の許可を得全年十月起工の權利を前田正名に移せし以來幾多の障害を除却して企業の根底を強固ならしめたり現に開田を終りたるもの百十五町四反八畝歩に達し尙灌溉の餘力充分なるを以て年次開墾地を擴張するの計畫なり

宮之原森林

宮之原國有林は西諸縣郡小林村字細野に在り其の面積五百十町步殖林後約百十餘年を経過し現存杉立木の數二百萬と稱せられ鬱蒼として繁茂し翠綠滴らんとする狀は實に壯快を覺ゆ縣下有數の森林なり



宜しき地帯に在りては古來諸國の内務部
 せるに當りては其の計を盡し其の
 増進に資するに努むるべし

箱根森林

東白杵郡有林

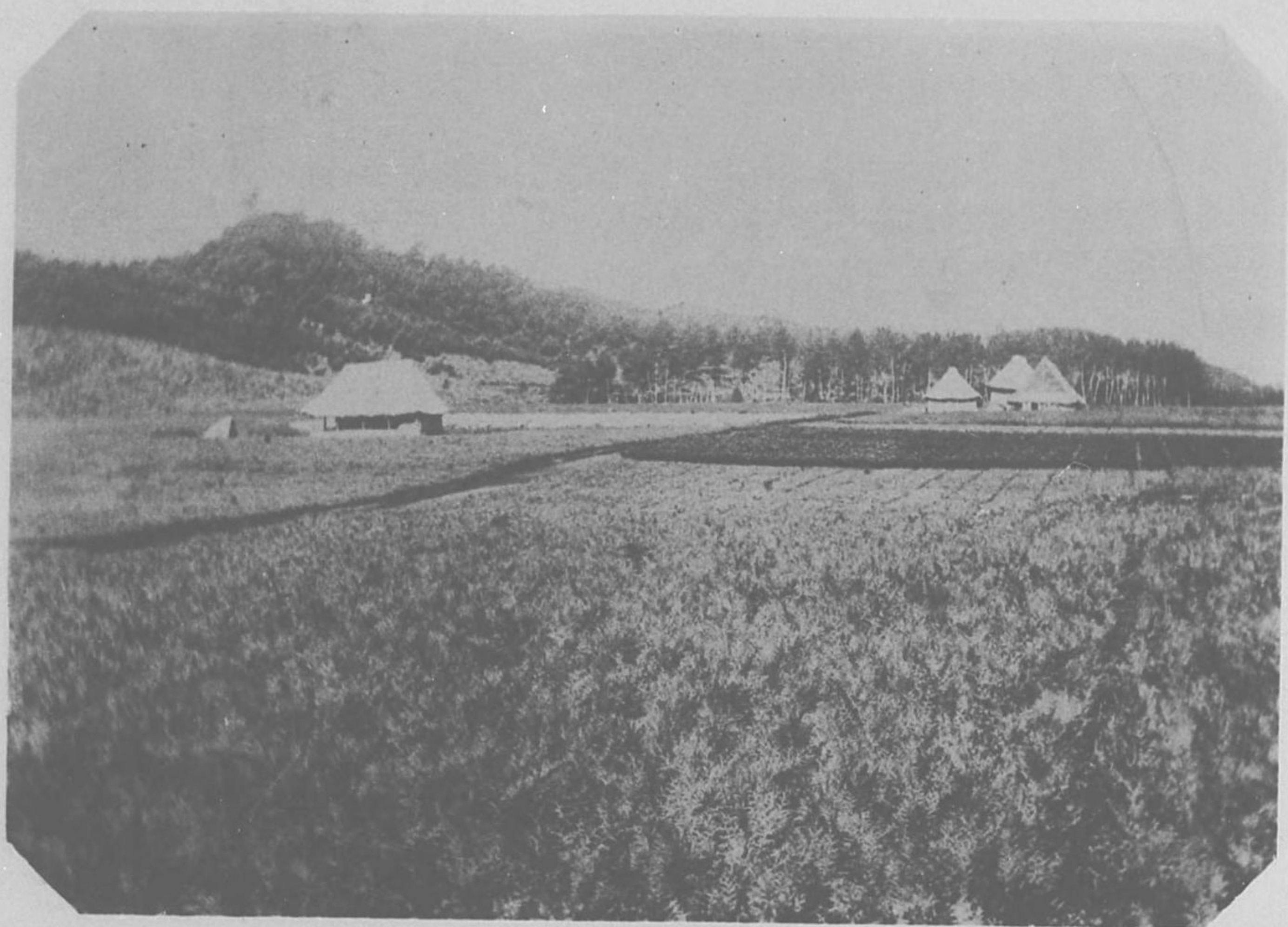
本郡有林は東白杵郡北方村字速日峰に在り延岡町を距る七里延岡より三田井町に通ずる縣道を距る三里にして面積二百四十七町步餘三種の林地より成る一は直接郡の購入に係り一は官民の部分林他は三菱合資會社横峯鑛山事務所の寄附地にして林地内に苗圃を設け明治三十二年杉、扁柏、檜三種の樹苗植栽に着手し六十一年に至り全部の殖林を完了する計畫なり

川南苗圃

川南苗圃は兒湯郡川南村字唐瀬原に在り宮崎より延岡に通ずる國道に沿ひ宮崎を距る北十里面積八町七畝五歩にして縣設六苗圃中最廣大なり目下養成中の樹苗は杉、扁柏、樟、櫟、白楊を通じ播種量六石六斗六升にして苗木數三百八十七萬九千四百六十七本なり

南方苗圃

東白杵郡南方村大字吉野に在り延岡町を距る西二里延岡より三田井町に通ずる縣道を距る五町餘にして其の面積は七町六反三畝七步目下養成の樹苗は杉外四種を通じ播種量五石九斗貳升七合苗木數三百四十三萬四千六百本にして各苗圃を通じ年々五百五十萬本の樹苗を引續き十ヶ年間各町村に對し無償配附を行ひ以て壹萬町步基本財産林に植栽せしむる計畫なり



丁面積二百四十丁也翁三縣の林
 田共四丁餘を有する里翁三縣の
 丁並に該岡田を有する里翁三縣の
 本縣官林は東白井郡北木村宇野日輪

東白井縣官林

細島港

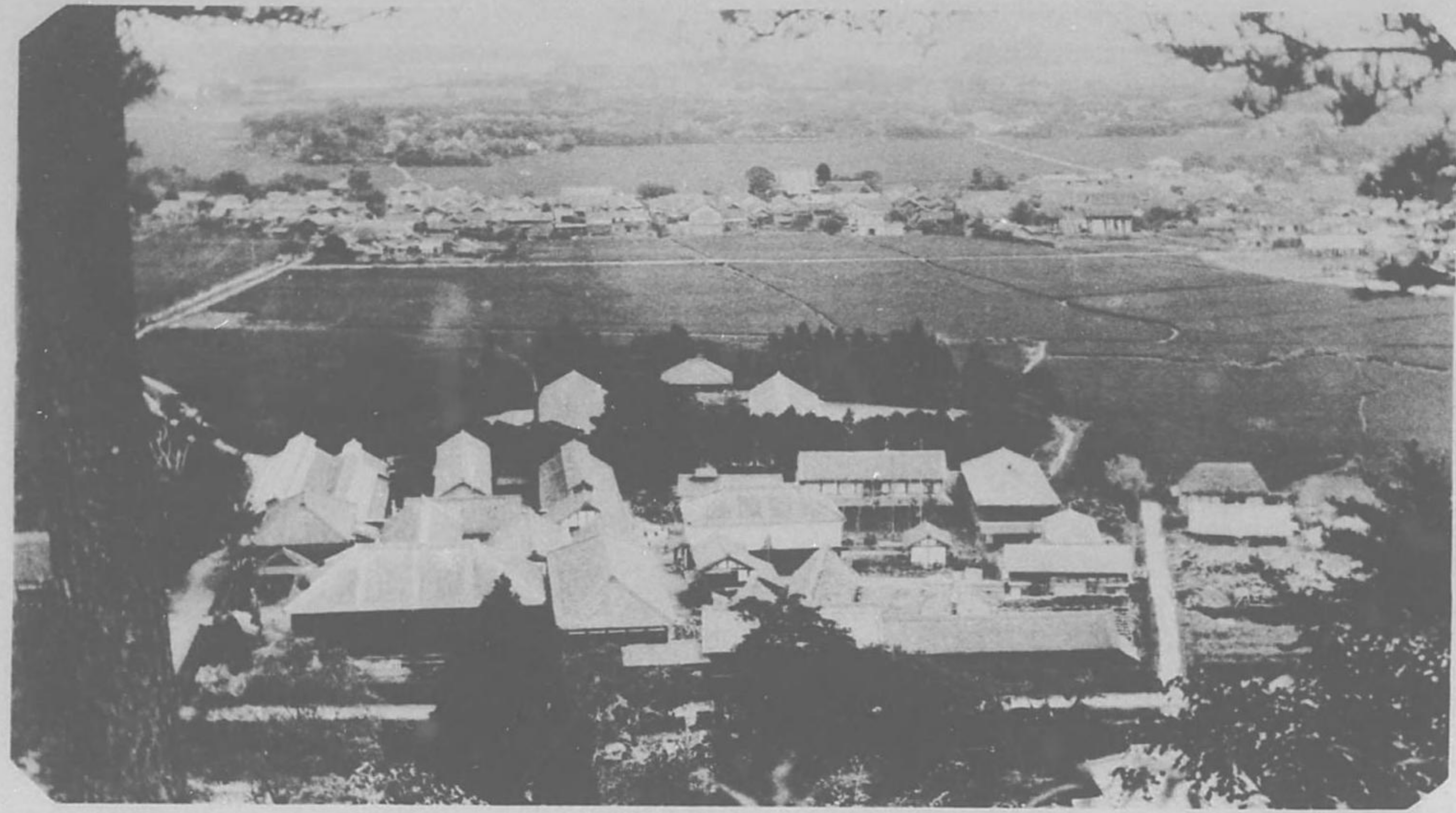
縣下第一の良港にして毎日大坂神戸
鹿兒島等に航行する汽船出入し百貨
輻輳せり沿海の漁業亦盛なり

高鍋市街

兒湯郡役所々在地にして子爵秋月家
の舊城下なり城址は市街の西に在り

美々津港

明治の初年美々津縣の在りし所にし
て和船輻輳阪神地方と航通絶へず漁
場あり又紙の産地たり神武天皇御東
征の折御乗船の所なりと云ふ御腰掛
石と云ふもの立磐神社の境内に在り
本港に注げる美々津川兒湯郡と東白
杵郡との境をなす町は兒湯郡に屬せ
り



日本第一の真珠湾
日大運輸
島

長谷 観音

兒湯郡三納村長谷山上に在り地境秀
拔にして古木鬱蒼たり東太平洋を望み
て眺望亦絶佳なり楠製観世音菩薩の
立像にして丈二丈三尺あり脇立二體
亦各一丈八尺あり何れも大永二年當
時の妙工越前の重嚴其の徒弟日周兼
兩人の作なりと云ふ初め養老二年高
僧行基上人當國に下向し三像を彫刻
安置し初瀬山補陀洛院長谷寺を建立
せしも大永二年火災に罹りしを以て
再建せしなりと云ふ

岡山孤兒院茶臼原農林部

本縣高鍋の人石井十次の經營せる岡
山孤兒院農林部は是なり位置は中央
縣道に沿ひ兒湯郡上穂北村に在り廣
袤七十町歩高燥の地、四面開濶風光頗
る佳なり現今兒童五十四名普通の教
育を施すと共に重に農業に従事せし
む杉、檜、松等の栽植面積既に十町歩に
達せり

亦谷一丈八尺の阿彌大永二季當
立船の了丈二丈三尺の龍立二體
了彌堂亦跡封の蘇婆羅世音菩薩の
対の了古木欄蓋の東太平并の壁心
見番三蘇林具谷山土の並の世觀表

具谷彌音



可 愛 嶽

東臼杵郡北川村大字長井に在り巍々たる岩山にして明治十年の役奮戦激闘の古戦場なり山巔には老松奇岩に絡ひ生じ眺望頗る雄なり東麓に御陵墓傳説地あり

行 跡 瀧

又布引瀧と云ふ延岡の西北三里許南方村に在り直下十八丈餘真に壯觀なり附近の風景亦佳なり



東白林道北川林大宇具共ニ並ニ藤々
巖山ノ下ニ脚部十半ノ對當輝巖
百 變 嶽

三田井市街

西白杵郡の名邑にして郡役所警察署
葉煙草收納所等あり或は此地を以て
上代天孫降臨の靈地となす此地方よ
りは古代使用せし石器、土器等を掘出
すこと往々あり

延岡市街

縣下北部に於ける都會にして子爵内
藤家の舊城下なり人口凡一万、此地方
沿岸漁業盛なり

日之影橋

西白杵郡七折村にあり延岡より三田
井に至る縣道、五ヶ所川の上流、山水秀
美なる所に架せるクイントラスト式
の橋にして山中の美觀なり



三田市街
西日林港の各邑の丁丁港野視察景

高千穂神社

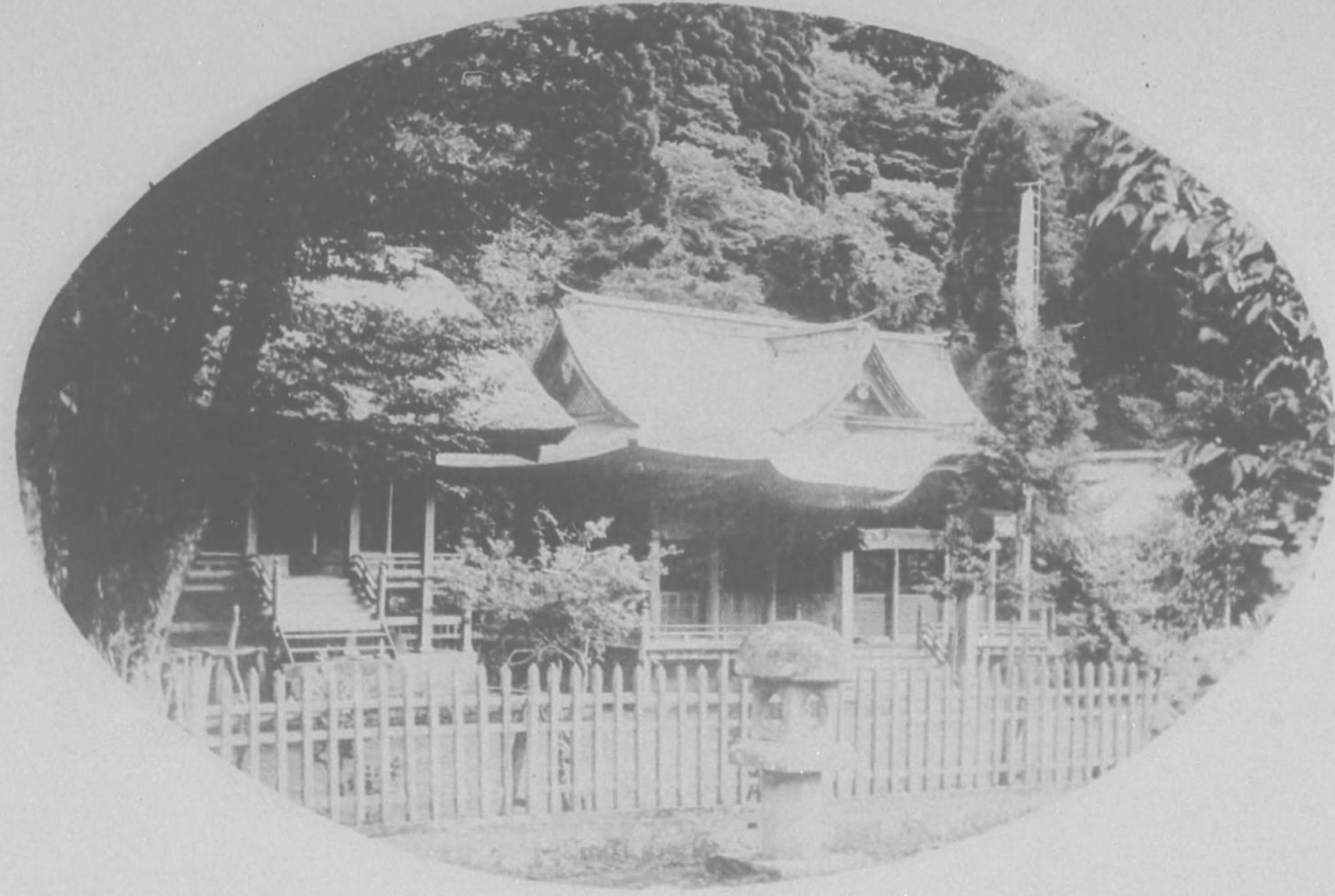
西臼杵郡高千穂村御鹽井にあり社地
二町一反餘畝歩三毛入野命鶉目姫命
を合祀す舊稱十社大明神と云ふ老杉
森々周圍三丈に及ぶものあり

岩戸神社

西臼杵郡岩戸村にあり天照皇太神を
祭る此社殿の後、溪流あり對岸絶壁の
中腹に太神の隠れ給ひしと云ふ天の
磐戸あり

窓の瀨

五ヶ瀬川の上流にして三田井の西方
に在り巨巖洞穴をなし水其の中を折
れ激湍跳て洞門を出で忽ち岩石に觸
れて騰沸す響震雷の如く盛夏雪を飛
す峰巒峻峭、潭水紺碧、盖日州の奇勝な
り



二四一 又箱船走三手入裡命跡目誠命
西臼井縣高千穂林崎靈共ニシテ攝也
高千穂林

明治四十年十月廿九日印刷
明治四十年十月廿三日發行

宮崎縣

兒童新聞社主

印刷者

關

口

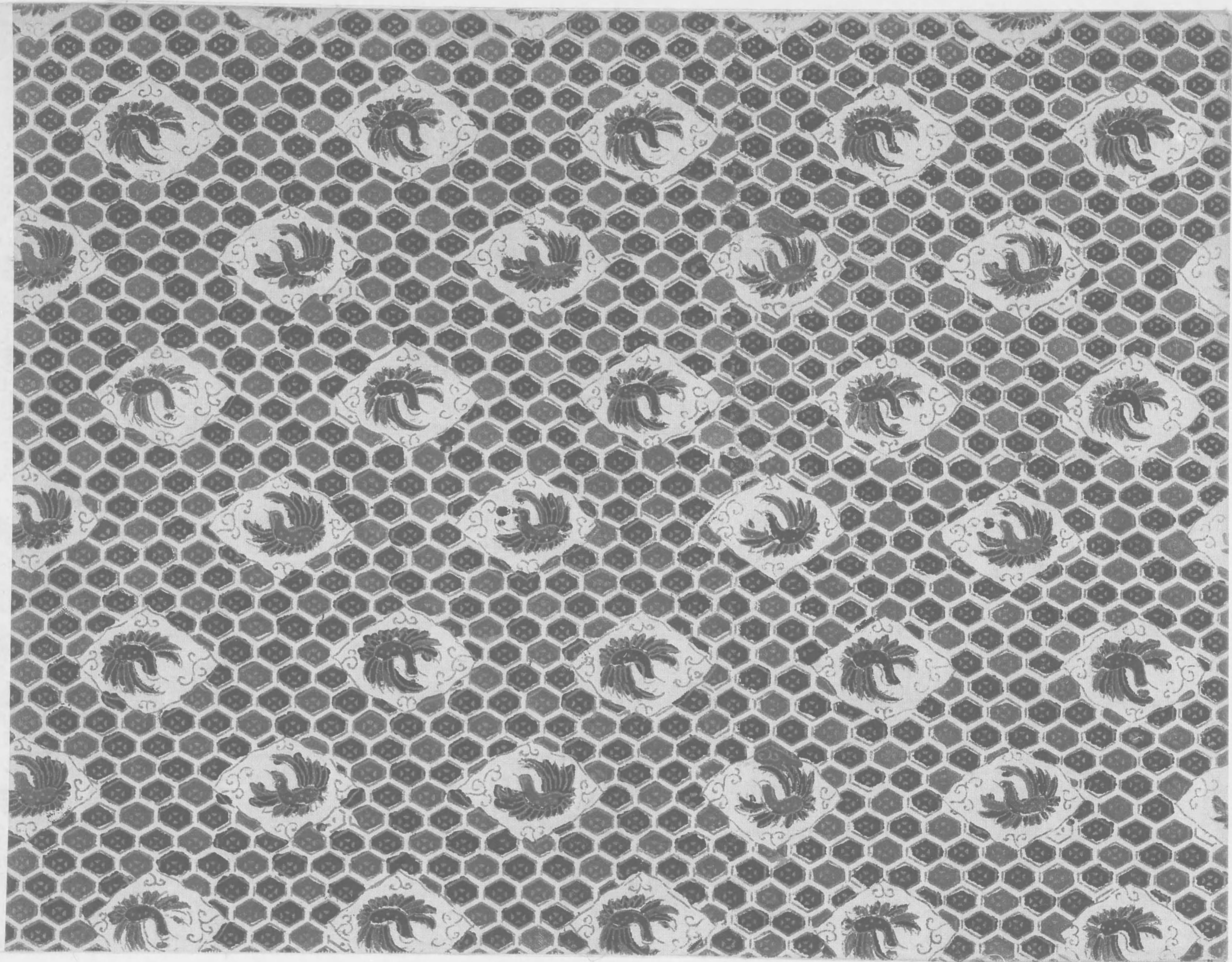
榮

東京市神田區末廣町十番地
(電話) 下谷八百四番



407
11







終